

『新型コロナワクチンの嘘』ペーパーバック用「参考資料 A」

P10

内海聡医師は、このような死亡事例が生じた場合、

「**医原病研究や薬害研究の専門領域では、まずワクチンの影響を第一に考え、完全に否定要素がなければ因果関係ありうる、なのだ**」

と、政府とその意向を汲んだ専門家たちの対応を非難している。[\(参考資料\)](#)

医原病とは、医療が原因で生じる病を指す。

P21

【**アメリカにおける2021年のワクチン死者数と過去累計との比較**】[\(参考資料\)](#)

2001～2020年の死亡累計が**3049人**。

2021年は、5月1日時点で死亡が**3409人**。

5月1日時点ですでに「**過去20年間のあらゆるワクチンによる死者の合計数**」を上回る。

5月28日時点の死者数(**5165人**)は、「**過去30年間の全ワクチン死者数**」を上回る――。

P23

【**日本の統計データから導き出される新型コロナ感染のリスクと新型コロナワクチンのリスク**】[\(参照動画\)](#)

日本のインフルエンザ感染者(2017年)：**1500万人**

・日本の新型コロナPCR陽性者数(2021年8月29日時点までの累計)：**143万人**

※しかも「PCR陽性＝感染者」ではない。8割近くは、無症状か軽症。

百歩譲って、PCR陽性が全て感染者としても、「**新型コロナの感染力はインフルエンザの10分の1以下**」

・日本のインフルエンザ感染の死亡者数(2018年)：**3325人**

・日本のインフルエンザ感染の死亡者数(2019年)：**3571人**

・日本の新型コロナ感染の死亡者数(2020年)：**3466人**

※死因がコロナでない事例でもPCR陽性ならコロナ死カウントされている場合がある。

百歩譲って、全てが本当にコロナ感染死だったとしても、「**インフルエンザに比較して、新型コロナは脅威のウイルスではない**」

・日本のインフルエンザワクチン接種後の死亡(2018年)：**3件**

・日本の新型コロナワクチン接種後の死亡(2021年1月から10月まで)：**1312件**

「**インフルエンザワクチンに比較して、新型コロナワクチンはまさに脅威である**」

・・・すでに過去のワクチンとは比べ物にならない新型コロナワクチン死亡者の数であるが、これすらも氷山の一角である。

歴史上最大の薬害事件が現在進行形で起こっているのだが、主要メディアがそこにメスを入れることはなく、その主要メディアを情報源としている人々が気づくことはない。

- 検索サイト：[「Search Results from the VAERS」](#)
- 検索サイト：[「VAERS COVID Vaccine Adverse Event Reports」](#)
- 検索サイト：[「Statistics and Research Coronavirus Pandemic \(COVID-19\)」](#)
- 検索サイト：[「コロナワクチン 副反応データベース検索」](#)
- 参照記事：[「新型コロナワクチンによる死亡・重篤副作用の数々」](#)
- 参照記事：[「報告は氷山の一角！コロナワクチン接種後の副反応、死亡のツイートが多すぎて戦慄！」](#)
- 参照記事：[「新型コロナワクチンの厳選情報まとめ」](#)

P26

日本も例外ではない。

厚生労働省が公開した人口動態統計データに基づき、「新型コロナワクチン接種による実際の死亡数」を推定したところ、

「実際のワクチン死亡数は、報告数の23倍から38倍」

と、いう数字がはじき出されるのだ。(詳しくは後述する。)

- 参照記事：[「日本のワクチン死者は『報告数の23～38倍』、『累計1.7～2.9万人』～人口動態統計の分析より～」](#)

P33

- 参照動画 [「記憶障害や突然の失神、少女達を襲う副作用 子宮頸がんワクチン訴訟で国と製薬会社は争う構え」](#)
- 参照動画 [「子宮頸がんワクチン副作用被害で2500件報告\(15/03/31\)」](#)
- 参照動画 [「子宮頸がんワクチン副反応動画」](#)

P35

●参照動画：[「国内医師と議員ら450人が『新型コロナワクチン接種中止』の嘆願書を厚労省に提出（2021年6月24日）」](#)

●参照記事：[「医師・議員・弁護士による『新型コロナワクチン特例承認取消等請求事件』訴訟（2021年8月8日）」](#)

●参照記事：[「新型コロナワクチン接種中止を訴える記者会見 賛同議員・医師650名 一般賛同者42000名（2021年9月18日）」](#)

P38

●厚生労働省ホームページ「[ファイザー社の新型コロナワクチンについて](#)」

「本ワクチンの接種で十分な免疫ができるのは、2回目の接種を受けてから7日程度経って以降とされています。現時点では**感染予防効果は明らかになっていません**。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります」

P40

厚生労働大臣ですら効果が分かっていないと漏らす状態で、日本での接種スタートが決定しているおかしさを、我々は忘れてはならない。（[参照動画](#)）

●参照記事：[「田村大臣会見概要（令和3年2月24日）」](#)

「感染予防効果があるかって事ですね？これはですね、あの今の所、世界中で**感染予防効果があるということ自体が認められている事ではない**んだと我々理解致しております。実際、例えば、ファイザーのワクチンに対してもですね、我が国においてはですね、発症予防に対しては、あー、これは確認できていると。**重症化予防に対しては重症者の事例が少ない**為にですね、あの一、ま、**確認できていない**んですが、まっ、ただ・・・、重症化予防というよりは、重症者が減るかという事から考えるとこれは、発症者が減れば重症化しないわけですから、あー、ま、発症者が減ったものは、重症者が減るんだろうという風には思っております。ただ**感染予防**という意味からするとこれは十分にエビデンスがまだないので、そういう意味では我々それを確認出来ておりません。あるかないかが分からない。つまり、もしかしたら**感染予防効果もある**かもわかりませんが、エビデンスがないという事なので、それが確認出来ていないという風に我々理解しております」

「自分がかからなかったら、人にうつす事は無いわけですけども、**感染はしている**けれども、人に対してうつす能力があるかどうか、これもまだ確認されていません」

●半数が新型コロナワクチン接種済みのアメリカのミシガン州で、時計を1年前の最悪期に戻す勢いの感染爆発が始まった ([参照記事](#))

●シンガポールでは、新型コロナワクチンの接種率が80%になったが、感染は止まらず ([参照記事](#))

●米国のロン・ジョンソン上院議員の訴え ([参照動画](#))

「イスラエルのデータによると、人口の84%がワクチンを接種しているが、新規感染者の84%はワクチンの接種者だ」

「ファイザー社のワクチンが効いていないのは確かだ」

●Didier Raoult 教授が新型コロナワクチンの効果を疑問視 ([参照動画](#))

「アイスランドは、先進国の中で最もワクチンの接種率が高い国（国民の90%以上がワクチン接種済）なのにこれまでにないほど多くの感染者が発生しています」

「ワクチンによる変異種に対する防御は、疫学的に見て控えめです」

●2回目接種が少ないインドの州と、多いアメリカの比較 ([参照動画](#))

インドのウッタル・プラデーシュ州は、州の中で最も人口が多い。（人口およそ2億2千万人）

ウッタル・プラデーシュ州では、ワクチンを2回接種済なのは人口の僅か5.8%、コロナの陽性率は0.01%、感染者は199人。

アメリカ（人口およそ3億3千万人）では、ワクチンを2回接種済なのは人口の60%、コロナの陽性率は7.6%、感染者は13万人。

ワクチンを打ちまくるアメリカでは、一週間で平均11万2千人もの新規感染者が発生。

●群馬の病院で「ブレイクスルー感染」によるクラスター。25人感染のうち24人が2回接種済み ([参照動画](#))

入院患者17人、職員8人、合わせて25人が感染したが、そのうち24人はワクチン2回接種済みであった。

●自然免疫とワクチン免疫の比較をしたデータ ([参照動画](#))

・新型コロナ感染の既往がなくて、ワクチン接種を受けたグループ（ワクチンの抗体）

・新型コロナ感染の既往があって、ワクチン接種を受けなかったグループ（自然免疫）

結果は、

「ワクチン接種を受けたグループでは、ワクチン接種を受けなかったグループに比較して、コロナウイルス感染の頻度が13倍高い」

と、いうもの。

つまり、新型コロナの感染予防には、ワクチン接種よりも、自然免疫の方がはるかに効果的であるという事を

示している。

●ハーバード大学の研究で、新型コロナワクチンの接種率が最も低い国では、ワクチンを十分に接種した国よりも新型コロナ感染の症例が少ないことが判明 ([参照記事](#))

研究では、68カ国と米国の2947郡を対象に、完全にワクチンを接種した人口の割合と新型コロナ(COVID-19)の新規症例との関係を調査。

様々な国を比較した結果、

「完全予防接種を受けている人口の割合が高い国ほど、100万人あたりの新型コロナ感染者数が多い」ことが分かった。

人口の60%以上が完全にワクチンを接種しているイスラエルが、過去7日間の100万人あたりの新型コロナ症例数が最も多かった。

アイスランドとポルトガル両国ともに人口の75%以上が完全にワクチンを接種しているが、100万人あたりの新型コロナ症例数は、ベトナムや南アフリカのように人口の約10%が完全にワクチンを接種している国よりも多くなっている。

同様に、米国では、ワクチン接種率が高い郡ほど新型コロナ感染者数が多くなっている。

完全にワクチンを接種した人口の割合が高いほど、新型コロナの症例が減少するという有意な兆候はないようだ。

ワクチン接種率の高い上位5郡(99.9~84.3%)のうち、米国疾病管理予防センター(CDC)は、4郡を「感染率の高い」郡としている。

Chattahoochee (ジョージア州)、McKinley (ニューメキシコ州)、Arecibo (プエルトリコ)の3つの郡では、人口の90%以上が完全にワクチンを接種しており、3つとも「高感染」と分類されている。

逆に、CDCが「低感染」と分類した57の郡のうち、26.3%(15)の郡では、完全にワクチンを接種した人口の割合が20%以下となっている。

P60

●参照動画 [「国内医師ら450名が新型コロナワクチン接種中止の嘆願書を厚労省へ提出」](#)

●参照記事: [「国内の医師ら450人が新型コロナワクチン接種中止の嘆願書を厚労省に提出」](#)

P72

●参照記事: [「ファイザー製ワクチン、追加接種で有効性95.6% 新型コロナ 2021年10月21日」](#)

P79

●参照記事：[「Nosocomial outbreak caused by the SARS-CoV-2 Delta variant in a highly vaccinated population, Israel, July 2021（2021年7月、イスラエルの2回目ワクチン接種を受けた集団における新型コロナデルタ変異体によって引き起こされた院内発生）」](#)

イスラエルの病院で、41人が新型コロナに感染。そのうち39人がワクチン2回接種済、2人が未接種。（N95マスクを着用の人達も大勢感染。）

ワクチン2回接種済の感染者の14人が重症化・死亡に至ったが、ワクチン未接種の感染者は全て軽症であった。

この検証データから導き出されることはシンプル。

- ・新型コロナワクチン2回接種をしても、感染予防効果・重症化防止効果はなかった。
- ・新型コロナワクチン2回接種をした人の方が、未接種者より重症化・死亡のリスクが高かった。

P81

●アジア各国でワクチン後の死亡者増加（[資料引用元](#)）

これまで感染が抑えられていたアジア各国（モンゴル・タイ・カンボジア・台湾）では、新型コロナワクチン接種後に、新型コロナ死が急増する事態となっている。

なお、対照的に、2021年5月15日時点でワクチン接種が始まっていないアフリカの5か国では、死者の増加は全く起きていない。

P85

●インドネシアの医師14人、ワクチン接種にもかかわらずコロナで死亡（[参照記事](#)）

「インドネシアで、少なくとも14人の医師が、規定回数のワクチン接種を受けていたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症で死亡していたことが分かった。同国の医師会が2021年6月25日、発表した。同国ではワクチン接種を受けた医療従事者が重症化するケースが相次いでいる」

P87

●新型コロナワクチン接種と新型コロナ死との関係を示すデータ（[参照記事](#)）

世界で最もコロナワクチンの使用が少ない5か国：100万人あたり3～57人のコロナ死者

世界で最もコロナワクチンの使用が多い5か国：100万人あたり212～1947人のコロナ死者

ワクチン接種が多い国の方が、コロナ死者が圧倒的に多い。つまり、重症化を防げていない。

むしろ、ワクチン接種の多さが重症者・死亡者を増やす要因となっている。

P103

●記事引用元：[「ロシアのコロナワクチン接種、ウイルスの変異促す危険性 2020年8月24日」](#)

—ロシアは、国立研究所が開発した新型コロナウイルス感染症のワクチン「スプートニクV」について、最終段階の臨床試験が終了して効果が証明されるのを待たず、接種を開始する計画だ。だが、世界の専門家は、**部分的な効果しか持たないワクチンの接種が、ウイルスの有害な変異を促す恐れ**があると警告する。

新型コロナウイルスを含め、ウイルスはあらゆる機会に変異し得る能力があることが知られている。多くの場合は、人体にもたらす危険はゼロか極めて小さい。

それでも一部の科学者は、**効果が不完全なワクチンを投与することでウイルスに「進化圧（選択圧）」と呼ばれる圧力が加わり、悪い方向に変異しかねない**と懸念する。

英リーディング大学のイアン・ジョーンズ教授（生物学）は、

「**予防効果が完全ではないと、ウイルスがそこにある抗体を回避するようになり、やがて全てのワクチン反応を避けるような選択圧が生じてもおかしくない**。ある意味で、**出来の悪いワクチンは、ワクチンなしよりも始末におえない**」

と、話す。

（中略）

科学者らによると、細菌でも似たような進化圧が起こる。**細菌を標的とする抗生剤に出会うと、抗生剤の攻撃を免れる能力を得て耐性を確保するのだ**。

世界保健機関（WHO）は、耐性菌や耐性ウイルス、さらにどんな抗生剤も効かない細菌（スーパーバグ）の増加の問題を、世界の保健衛生や食料安全保障などでの最大の脅威の1つに挙げている。

ジョーンズ氏によると、ワクチンに起因するウイルスの変異はめったに起きるものではない。ウイルスが細胞に侵入して複製する能力を阻止するワクチンの効果が大きいほど、ウイルスが循環しながら免疫反応をすり抜ける方法を「学ぶ」機会は低下するという。

「**（ワクチンが）完璧に阻止機能を果たせば、ウイルスは侵入できないし、侵入できない以上、何も学べない**」しかし、侵入して複製ができる場合は、

「**力不足のワクチンが何であれ、これが生み出す抗体を回避する選択圧が存在してしまうことになる**。その結果がどうなるかは、誰も知らない」

と、いう—。

P116

●28歳のサラは、ファイザー社の新型コロナウイルスワクチン接種後、脳卒中を起こし、死亡（[参照記事](#)）

—彼女の名前は、サラ。

ファイザーワクチンの犠牲者です。

彼女は、28歳の若さで、ワクチンにより、2月7日 日曜日、脳幹に脳卒中を起こした。

それ以来、彼女は生命維持に携わっていましたが、医師は回復の可能性はないと判断。

・・・彼女は亡くなりました—。

P118

●彼女の母、バージニア・ベス・エリントンは、ジョンソン・エンド・ジョンソン社の新型コロナワクチンの犠牲者です！

涙を流しながら語る娘さん。(参照動画)

——私の母は今朝亡くなりました。

母は月曜日にワクチンを接種しました。

100%健康です。

私は彼女がワクチンを接種したからだと100%確信しています——。

●ポーランドの医師 **Witold Rogiewicz** 博士が、新型コロナワクチン接種後に死亡 (参照記事)

——ポーランド人医師は、実験的な新型コロナワクチンを受けてからわずか数日後に亡くなりました。死因は心不全だったと言われています。しかし、最も皮肉なのは、彼が反ワクチンを嘲笑しながら接種のビデオを録画したことです——。

P120

●**Leslie Ann LaBruzza** さんが2回目のモデルナワクチン接種後、死亡 (参照記事)

「母は最近定年退職したばかりの68歳で、まったく健康でした。1回目のコロナワクチンを打ったのは1月で、副作用はごく軽度でした。打ったのはモデルナワクチンです。2月10日、初回から3週間後に2回目の接種を受けました。水曜日の午後4時に受け、その日の晩はやり過ごせました。木曜日、日中は会話もできましたが、その日の晩に注射部位が発赤して痛み、ひどい疲労感がありました。夜9時、頭のズキズキする痛みを訴え「もう寝る」と言いました。母が亡くなったのはその2、3時間後のことです。金曜日の午後に冷たくなった母の遺体を見つけました。死後解剖は拒否されました。別のところでしてもらおうにも、そのお金がありませんでした。検死局によると、母は深夜に亡くなったとのことです。母には持病はありませんでしたし、コロナでもありません」

●25歳の **Desiree Penrod** さんが、コロナワクチン接種後に死亡 (参照記事)

3月10日「コロナワクチンで今日は死ぬほど苦しい。腕が痛くて、ものすごい疲労感。頭痛、胃痙攣、耳痛もある。私を見る人みんなが『顔色悪いよ』って言う。きのうは全然大丈夫だったのに。今日はその分のツケを払ってるみたい」

「2021年3月17日、Desiree Penrod さん、自宅にて急逝。享年25歳」

P122

●バージニア州の **Drene Keyes** さん 58歳、1回目のコロナワクチン接種から数時間後に死亡 ([参照記事](#))

「歌がとても上手で、6人の孫を持つ Keyes さんは、ワクチン接種後に呼吸困難に陥り、嘔吐し始めた。病院に救急搬送され、エピペン注射、心肺蘇生、酸素投与が行われたが、帰らぬ人となった。死因はアナフィラキシー反応に起因する急性肺浮腫と考えられる」

●介護施設勤務の39歳女性 **Janet Moore** さんが、コロナワクチン接種後に死亡 ([参照記事](#))

「施設の雇用者からワクチンを打つよう言われ、コロナワクチンを接種。接種から48時間後、車の中で死亡しているのを弟に発見された」

P124

● **Luke Garrett** さん、ファイザー製ワクチン接種後にけいれんを起こす。12時間後に死亡。享年20歳。母親は説明を求める ([参照記事](#))

P125

● **ジョシマー・ヘンリー (Joshimar Henry)** 博士27歳が新型コロナワクチンを接種。2021年4月3日急逝 ([参照記事](#))

——ジョシマー・ヘンリー博士は、シカゴのフンボルトパークヘルスのPGY1プログラム(薬局)のレジデントドクターでした。

1月6日に2回目接種。4月3日に亡くなりました。

ヘンリー博士は肥満でも太りすぎでもありませんでした。議論の余地のない事実の1つは、彼が死ぬ3か月前に2回の実験的mRNAワクチンを受けたことです——。

P127

● **Daniela Filippi** さん。アストラゼネカ社製ワクチン接種後、体調を崩す。睡眠中に急死。 ([参照記事](#))

P128

●アメリカの産婦人科医56歳が、2020年12月18日にファイザー製新型コロナワクチン接種。16日後に脳卒中で死亡 ([参照記事](#))

フロリダ州マイアミ・ビーチのマウントシナイ医療センターで働いていた産婦人科医グレゴリー・マイケルさんの健康状態はよかったが、ワクチン接種後、手足に斑点状の皮下出血を確認。(特発性血小板減少性紫斑病)入院し、輸血やクスリを投与されたが、1月3日に脳内出血で死亡。

P129

●2021年1月22日、大リーグのホームラン王、ハンク・アーロン氏が新型コロナワクチン接種後に死去している（[参照記事](#)）

アーロン氏は、カメラの前でモデルナ社製の新型コロナワクチンを接種し、ツイッターで、「皆さんも同じように受けられることを望みます」と投稿。だが、その17日後、帰らぬ人となった。当初、ワクチンとの関連性を問題視されていなかったが、ロバート・ケネディ氏がSNSで、「ワクチン接種直後の高齢者で原因不明の死が続いている。その一環ではないか」と疑問を投げかけた事で注目された。だが、アーロン氏の死因は発表されていない。

P131

●韓国の20歳の女性がモデルナ社の新型コロナワクチン接種後に死亡。（[参照動画](#)）

——Lee Yu-bin さん。韓国の20才の女性だ。彼女は概ね健康だったが、モデルナ社のワクチン接種後、血栓ができて死亡した。

当局は、当初彼女の死はワクチンと関係がないと主張していたが、米国と欧州の新しい研究に基づき、やっぱりワクチンが原因だろうと言われている——。

P132

●アメリカの60代医療スタッフが、新型コロナワクチンを接種し、4日後に死亡（[参照記事](#)）

ファイザー社（アメリカ）とビオンテック社（ドイツ）が共同開発した新型コロナワクチンを接種したのは、カリフォルニア州の病院でレントゲン技師として勤めていた男性、ティム・ジュークさん。

2021年1月5日に、新型コロナワクチンの2次接種を受けた数時間後、呼吸困難と下痢症状を訴え、緊急治療室へ。

コロナの疑いとうっ血性心不全の症状があると診断。その後、血圧低下、腎機能異常を経て、呼吸器をつけた状態で治療したが、9日に帰らぬ人となった。

妻によると、ご主人は高血圧で若干肥満気味だったが、健康上の問題はなかったという。

●ノルウェーは、2020年12月末に新型コロナワクチンの接種を開始して以来、1回目の接種を受けた高齢者のうち33人が死亡したと報告（[参照記事](#)）

ノルウェーでは、ファイザー社（アメリカ）とビオンテック社（ドイツ）が共同開発した新型コロナワクチンを接種した33人が死亡。

●スペインの老人ホームで、2021年1月13日にファイザー社の新型コロナワクチン接種の第1回目が実施され、6日後、接種した78人全員が新型コロナに感染し、7人が死亡、4人が入院となった（[参照記事](#)）

接種を受けた78全員には新型コロナの初期症状が現れ、コロナウイルス陽性反応を示したため、全員を別々の部屋に隔離して対応。

事務所は、

「衛生管理規則は全て遵守していると明らかにしたうえで、パンデミック始まって以来と、老人施設で感染蔓延の事態が生じたのは初めて」

と、驚いている。

●オーストリアで、2021年3月7日、新型コロナワクチン接種後に49歳の女性が死亡（[参照記事](#)）

新型コロナワクチン接種後に49歳の女性が死亡。死因は血液の凝固障害。

また、別の35歳の女性も、肺の血管が詰まる肺塞栓症を発症したが、回復傾向にあると報告された。

両者は共にアストラゼネカ社の新型コロナワクチンを、オーストリア東部のツベトルで接種を受けていた。

●BBC司会者、ワクチン接種後に死亡 検視で関連を調査へ 2021年5月28日（[参照記事](#)）

遺族によると、BBCラジオ・ニューカッスルで司会を務めていたリサ・ショーさん（44）は、1回目のワクチン接種後に血栓を発症し、治療を受けていた。基礎疾患はなかったという。

BBCが確認したショーさんの暫定的な死亡確認証明書では、死因として検討されている可能性のひとつとしてワクチンが挙げられている。

イギリスの医薬品・医療製品規制庁はアストラゼネカ製ワクチンについて、接種の利益がリスクを大きく上回っているとしている。

遺族は声明で、ショーさんは、

「アストラゼネカ製ワクチンを接種した1週間後にひどい頭痛を訴え、数日後には容体が悪化した」

と、説明。その後、王立ヴィクトリア病院の集中治療室で「血栓と脳出血の治療を受けた」という。

「悲しいことに、リサは家族に囲まれて21日午後1時に亡くなりました（中略）彼女が関わった全ての人に愛されていたことが、家族の大きな救いになっています」

●韓国の女子大生がファイザーワクチン接種後に死亡 2021年10月14日（[参照記事](#)）

——韓国で20代の女子大学生が新型コロナワクチン接種から19日後に死亡した。保健当局はワクチン接種と死亡の関連性があるかどうか調査に着手した。

14日の忠清北道（チュンチョンブクト）などによると、10日午後、忠州（チュンジュ）のワンルームで大学生のAさん（24）が遺体で見つかった。

Aさんの家族が警察に「娘と連絡がつかない」と伝え、出動した警察が部屋の中で倒れているAさんを見つけた。

警察は発見当時、死後1日ほど経過していたと推定した。外部からの侵入など他殺や自殺の状況は見られなかったという。国立科学捜査研究院の1次剖検でも死因は「未詳」だ。

遺族側はAさんは基礎疾患がなく健康だったとし、ワクチンの副反応が疑われると主張した。Aさんは先月20日、残余ワクチン接種を予約してファイザー製ワクチンの2回目の接種を終えた。死亡の19日前のことだ。遺族側は「普段から健康だった娘が若い年齢で天国にってしまったのはワクチンの副反応としか考えられない」とし「卒業の準備のため体調が悪くても一人で我慢していたのではと思うと胸が張り裂けそう」と訴えた一。

●タイの39歳男性が2回目のワクチン接種後に死亡 (参照動画)

タイの39歳の男性 Prasarnchuaさんは、体が丈夫で基礎疾患は全くなかったが、1回目はシノバック、2回目はアストラゼネカのワクチンを接種した。

嘔吐、高熱、頭痛を訴え、意識を失い、脳出血で死亡。

亡くなった方のお母さんの話。

「死因がワクチンなのか事実を確認するために正義の味方をお願いしたい」

●タイの60才の女性 Charasriさんがアストラゼネカのワクチンを接種して3日後に死亡 (参照動画)

亡くなった方の妹さんの話。

「姉はワクチン接種の10時間後に発熱、下痢、吐血等をした。翌日入院後、胃から出血し、脳が腫れ、心不全で死亡した。姉は概ね健康だった。ワクチンが原因かを調査して遺族への補償を希望する」

●デルタ航空のパイロットがワクチン接種後の飛行日中に死亡 (参照記事)

アメリカ食品医薬品局 (FDA) の元医薬品開発専門家であるジェーン・ルビー博士によると、

「最近ワクチン接種を受けたパイロットが飛行中に死亡し、副操縦士が緊急着陸した」

と、この事件に出くわしたデルタ航空の客室乗務員は述べたという。

「これらの情報源によると、パイロットは過去10日以内に飛行中に死亡しました」

「フライトは緊急着陸しなければなりませんでした」

情報源は、デルタ航空のパイロット、目撃したデルタ航空の客室乗務員、デルタ航空の従業員の親戚であると述べた。

亡くなったパイロットは「ロサンゼルス国際空港を拠点とする機長」であり、「飛行機は無事に着陸した」とのことだが、乗客に理由が説明されたのかどうかは分からず、彼らの飛行は迂回された。

副操縦士は、この悲劇的な出来事の「数日前」に、今は亡くなった機長から、

「ワクチンの2回目接種を完了した」

と、言われたという。

「ワクチンは死を引き起こさない」

と、いうデルタの主張とは対照的に、欧州連合のデータには、EU諸国だけで200万人以上の被害者と少なくとも21000人の死亡者が示されている。

アメリカの有害事象報告システム (VAERS) は、現在、なんと16000人のアメリカ人の死亡を報告しており、さらに内部告発者の宣誓証言によるとVAERSは深刻な過少報告に苦しんでおり、より正確な数は45

000人の死亡の「控えめな見積もり」である。

ルビー博士は、

「これは航空会社に対するワクチンの義務化がほぼ遍在するようになって以来発生した多くの疑わしい出来事の1つに過ぎない」

と、付け加え、飛行中の死亡は異常ではなく、

「人々が考えるよりもはるかに大きな危機の一部である」

と、主張。

「シアトルを拠点とするパイロットが塞栓症で死亡しているのが発見された」

「アトランタを拠点とする客室乗務員2人が自宅で死亡しているのが発見された」

「ソルトレイクシティのパイロット1人が画期的な感染症に苦しみ、レムデシビルを服用した後に腎不全で死亡した」

「突然亡くなった47歳のソルトレイクシティの客室乗務員ベースマネージャー」

デルタ航空はワクチンを明示的に義務付けていませんが、ワクチン接種を受けていない従業員が会社の医療計画の対象である場合、月額200ドルの追加料金を支払うことを要求するワクチン接種プログラムを発表した。この計画により、全社で90%を超える予防接種率が報告されている。

職場での強制的な新型コロナワクチン接種方針の制定は、医学界と法曹界の両方で懸念の原因となっている。

●2021年1月、ジブラルタルにおいて、およそ5400人（人口の17%）にファイザー社製新型コロナワクチンを接種したところ、52名が死亡。100人に1人が死んだ計算（[参照記事](#)）

死者の大半は高齢者で、接種後10日以内に亡くなったという。

ちなみに、1年間でのジブラルタルの新型コロナ関連とされる死亡者数は16名。10日で52名を死なせたワクチンによる死亡率はそれの20倍にあたる。

●バーモント州は米国で最もワクチン接種率が高い州で、67%がワクチンを2回接種しているが、25歳～の若い世代を中心として超過死亡が極端に多くなっている（[参考資料](#)）

25～44歳（+1050%）

45～64歳（+51.8%）

65～74歳（+23%）

若い世代に「因果関係のはっきりしない突然死」、すなわち新型コロナワクチン接種による死亡が増えているのだ。

P144

【国内死亡事例① 60代女性】

2021年3月2日、厚生労働省は、新型コロナワクチンを接種した60歳代の医療従事者の女性が死亡したと発表。

2月17日から全国100病院で順次、医療従事者への先行接種が始まっていたが、新型コロナワクチン接種

後の死亡報告は初めて。

死因はくも膜下出血とされているが、「**接種との因果関係は不明**」と報道された。

女性に持病やアレルギー歴はなく、2月26日にファイザー社の新型コロナワクチン接種を受け、当初目立った副反応もなかったが、3月1日に亡くなっている。

●参照動画 [「ワクチン接種後女性死亡」](#)

●参照動画 [「日本国内初のワクチン接種後死者 海外でも死亡事例、各国の評価は」](#)

「ワクチンとの因果関係は不明」などと完全にはぐらかしているが、**接種後3日後に死んでいるのだから**、海外の事例を踏まえても、関連があると見るのが自然であろう。

この日本でのワクチン接種後の死亡事例について、厚生労働省ホームページでは以下のような見解を発している。

● [「新型コロナワクチンの接種後の死亡事例の報告について（1例目）」](#)

(1) 事例

- ・60歳代の女性。基礎疾患及びアレルギー歴：無
- ・接種日：2月26日（金）、発生日：3月1日（月）
- ・報告日：3月2日（火）
- ・死因：報告者によると、くも膜下出血と推定されると報告されています。

(2) 接種されたワクチンについて

ファイザー株式会社「コミナティ筋注」 ロット番号：EP2163

(3) ワクチン接種との因果関係（報告者の評価）

報告者は、現時点では**評価不能**と報告しています。

(4) 専門家の意見

○森尾友宏 厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会長

「死因として疑われているくも膜下出血は、40～60歳台の方に比較的起こりやすい疾患とされており、今のところ**海外における接種事例でも、くも膜下出血と新型コロナワクチンに関連があるとはされていないようである。偶発的な事例かもしれないが**、この症例についても更に情報を収集し、今後の審議会で評価していく必要がある。」

○岡明 薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会長

「くも膜下出血と考えられるということであるが、そうであれば一般には**以前からあった動脈瘤などの破裂が原因となることが多く、こうした年代の方々に生じうる疾患と考えられる**。ワクチンとの関連については、**海外での治験や接種後の報告でも、新型コロナワクチン接種後にくも膜下出血が増加するとの知見は報告されていない様**である。事例に関する情報等を更に収集した上で、今後の審議会で検討することになる。」

【国内死亡事例② 26歳女性】

また、他にも、国内で26歳の女性が新型コロナワクチン接種後に死亡している。

死因は脳出血（小脳）、くも膜下出血。

ただ、またしても「ワクチン接種と死亡の因果関係は評価不能」とされた。以下、資料をしてみる。

● [「第54回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和2年度第14回薬事・食品衛生審](#)

(1) 患者背景：26歳の女性

(2) 接種されたワクチンについて：ファイザー株式会社「コミナティ筋注」 ロット番号：EP9605

接種回数1回目

(3) 基礎疾患等：無

(4) 症状の概要

接種日時：令和3年3月19日午後（時間不明）

発生日時：令和3年3月23日午前11時頃

死因：脳出血（小脳）、くも膜下出血

概要：3月19日ワクチン接種（1回目）。接種後、アナフィラキシー等なし。体調変化なし。

3月22日 通常勤務。

3月23日 夜勤だが出勤されず、家族へ連絡し、当院職員も自宅へ。家族、警察、救急隊が先に午後5時15分頃到着し、死亡確認された。

検死により午前11時頃の死亡と推定された。

AIのため当院へ午後7時48分到着。

全身CTの結果、頭部CT、小脳左半球 CP Angle にかげ、直径3.5cmの血腫あり、石灰化（+）で形態より血管腫や髄膜腫などの血管性腫瘍からの出血が疑われる。

脳動脈瘤の可能性もあり。

脳幹への圧排が左背側からあり、周囲にくも膜下出血のひろがりあり、側脳室内に血液流入あり。

肺野では両側肺に中枢側を中心に肺水腫の所見あり。

よって、小脳出血の脳幹部圧排、くも膜下出血等、脳出血を直接死因とした。

(5) ワクチン接種との因果関係（報告者の評価）

評価不能

報告者意見：AI画像では、上記所見を認め直接死因と判断した。ワクチン接種と死亡の因果関係は、評価不能だった。

他要因の可能性の有無：有（脳出血（小脳）、くも膜下出血）

(6) 専門家の評価

○因果関係評価：γ

○専門家コメント：死亡時画像診断（CT）にて、小脳半球から小脳橋角部にかけて石灰化を伴う血腫を認めており、脳動脈瘤や海綿状血管腫の存在が示唆されるが、特定のためには剖検などのより詳細な情報が必要である。脳出血による死亡とワクチン接種の因果関係は評価不能である。

・・・新型コロナワクチン接種4日後に死亡し、基礎疾患は無いにも関わらず、

「脳出血による死亡とワクチン接種の因果関係は評価不能」

という、決まり文句のような回答。

前述した60代女性の被害者と同様、

「もともと遺伝子ワクチンに入っている遺伝子（mRNA）は、新型コロナウイルスのスパイクタンパク質を産生するもので、このタンパク質は血栓を引き起こすデザインになっています。したがって、心臓・脳血管系の後遺症や死亡例が出ているのはワクチンの設計通りです」

と、いう崎谷博征医師の主張と符合するし、欧州医薬品庁に公開質問状を送ったヨーロッパの医師たちの指摘からも、新型コロナワクチンが脈管系トラブル（血管の閉塞、脳・脊髄・心臓への虚血障害、出血など）を引き起こしやすいことは明白である。（[参照記事](#)）

P179

被害事例について詳しく知りたい方は、下記のサイトをご覧ください。

- 参照記事：[「報告は氷山の一角！コロナワクチン接種後の副反応、死亡のツイートが多すぎて戦慄！」](#)
- 参照記事：[「新型コロナワクチンによる死亡・重篤副作用の数々」](#)
- 参照記事：[「新型コロナワクチンの厳選情報まとめ」](#)
- 参照記事：[「コロナワクチン死亡症例集」](#)
- 参照記事：[「コロナワクチン死亡症例集2」](#)
- 参照記事：[「コロナワクチン被害症例集2」](#)
- 検索サイト：[「コロナワクチン 副反応データベース検索」](#)
- 検索サイト：[「Statistics and Research Coronavirus Pandemic \(COVID-19\)」](#)
- 検索サイト：[「VAERS COVID Vaccine Adverse Event Reports」](#)

P181～

●ブラント・グリナー (Brant Griner) さんの母親は、新型コロナワクチン接種後、全身の痙攣が止まらず、歩行もおぼつかない状態に・・・

彼女のご家族が、[動画](#)とメッセージを発信し、

「これはファイザー社の新型コロナワクチンが私の母にしたことです。みんな彼女のために祈ってください。彼女は病院に入院しました。そして、ワクチン接種することに注意してください」

「この投稿をシェアしてください。答えを見つけるのを手伝って下さい」

「お母さんは今日さらに悪化していますが、まだ医者からの答えはありません。彼女のために祈ってください。私のお母さんをこのように見るのが我慢できないので、彼女を助けるために何もできないと泣きたくになります」と、声を上げている。

●ショーン・スケルトン (Shawn Skelton) さんは、新型コロナワクチン接種後、体が震え、舌が膿んでいると訴える

その様子を[動画](#)で発信し、

「もしあなたが新型コロナワクチンを検討しているなら、私は反対だとアドバイスします！」

「私は体調が悪い！ 日々悪化しているけど、私は助けも答えも受け取っていない！ 言えるのは、死ぬほど怖い！ そして、これを理解しようとする人を見つけることはできていない！」

と、苦しみを吐露。

●参照動画「[Shawn Skelton - In her own words](#)」

ショーンさんが、モデルナ社の新型コロナワクチン接種を受けた後の状態について話している。

●アメリカバージニア州・グーチランド郡の男性は、新型コロナワクチン接種によって、恐ろしいほど皮膚が荒れてしまい、足が赤くただれ痛々しく腫れてしまった

その様子は、ネット上の[動画](#)にて公開されているが、あまりに痛々しい状況に声を失ってしまいそうになる。

●医学生がファイザーワクチン接種の10分後、痙攣をおこし足が麻痺（[参照動画](#)）

「医学部5年生のAroojさんは、『最も安全』とされたファイザー社のワクチンを待ち焦がれていた。接種10分後、Aroojさんは痙攣を起こし、次に発作を起こし、足が麻痺してしまいました。Aroojさんは家族に、医学研究のためにこれらのエピソードを報告するように頼みました」

●Dr.TenpennyさんのSNSより。新型コロナワクチン接種後に心臓合併症で入院した学生（[参照動画](#)）

学生アスリートの彼は、「報告も対処もされていない」と現状を嘆き、ワクチン接種の危険性をベッドから訴えている。

●ミネソタ州の女性が2回目のファイザー製新型コロナワクチン接種後、両足と両手を失う（[参照記事](#)）

——ジュンマイ（Jummaci）はミネアポリスの診療所で医療助手として働いていて、新型コロナワクチンを接種するように指示されました。

彼女はそれに応じ、2回目の注射を受けた直後、夫によれば、「彼女は職場で胸の痛みを経験し始めた」とのことです。

その後、ファイザー製新型コロナワクチンの既知の副作用である血栓のよく知られた症状が彼女の心臓に発見され、今日彼女は両足を切断しました。彼女の両手を切断する必要があります——。

●かゆみを伴うすさまじい発疹が全身に（[引用記事](#)）

「2021年2月24日にファイザー製新型コロナワクチンを初めて受けました。接種後14日間は、何一つ問題ありませんでした。しかし15日目、かゆみを伴うすさまじい発疹が全身にできました。入院となり、皮膚生検

を受け、様々な薬剤を静脈投与されました。今もまだひどい疲労感があり、一日中断続的に眠っています。寝汗がひどく、体のあちこちが痛み、体調は最悪です。5月のファイザーワクチン2回目の接種は受けなつもりです」

●Sherry GroffさんのSNSより (参照記事)

「娘がファイザー社製ワクチンを初めて受けたのですが、一晩経って起こったのがこの写真です。最初、皮膚に水ぶくれみたいなのできて、今はそれがかゆくて、腫れてて、なめし皮のようになっています。2回目のワクチンは受けません」

●タイのワクチン接種センターで、倒れる人 (参照動画)

医療スタッフが対応に追われる中、痙攣が止まらない様子。

●新型コロナワクチン接種後の若い男性に心筋炎・心膜炎が多発 米CDCが対応協議へ (参照記事)

「2021年6月23日に開催されたCDC（アメリカ疾病管理予防センター）の予防接種実施諮問委員会の会議で、ファイザー・モデルナの新型コロナワクチンを接種した30歳以下の人々に、心筋炎または心膜炎の症例が1200件以上あった」

●インディアナ州の83歳の女性は、モデルナのワクチンを接種したところ、同日に左目が失明 (米国VAERS症例レポートより)

「病院の緊急治療室に行ったところ、目に血栓ができて失明したと言われ、眼科医はおそらく永久に残るだろうと言った」

と、報告しています。

●オクラホマ州在住の50歳の女性が、ファイザー社の新型コロナワクチンの2回目の投与を受けた2時間半後に網膜中心静脈閉塞症を発症し、右目を失明 (米国VAERS症例レポートより)

●モデルナワクチンの2回目の投与を受けてから12時間以内に、左後頭葉の後頭脳梗塞を経験 (米国VAERS症例レポートより)

フロリダ州の73歳の男性のVAERS報告書には、こう書かれています。

「その結果、右上象限の周辺視野が失われた」

●カリフォルニア州の68歳の男性は、初回接種を受けた3週間後に右目の視力が永久に失われた。網膜動脈分枝閉塞症と診断（米国VAERS症例レポートより）

●ファイザーワクチン接種後、視力の問題を発症したミシシッピ州の33歳パイロット（[参照記事](#)）

「ワクチンを接種してから1時間以内に頭のでっぺんに頭痛がするのに気づきました」

「私が知っている誰もがそれから頭痛がしたと言ったので、それは正常だと思いました。次の数時間で、痛みは首の後ろに伝わり、頭蓋骨の底で灼熱感になりました。」

「ワクチン接種してから2日後、飛行機を飛ばしてすぐに何かがおかしいことに気づきました」

「私は集中するのに非常に苦労していました。飛行開始から約2時間で、突然頭に極度の圧力がかかり、ほぼ真っ暗になりました。私はすぐに着陸して飛行をやめました。」

——パイロットは2日後に再び飛行を試みたときに同じことを経験しました。首の灼熱感が強まり、めまい、吐き気、方向感覚の喪失、錯乱、制御不能な震え、つま先と指のうずきを伴いました。

VAERSの説明によると、患者はめまいと診断され、薬を処方されました。彼はバランス・目・聴力検査・CTおよびMRIスキャンを含む広範な検査を受け、ファイザーコロナワクチンに対するアレルギー反応が脊髄と脳幹の圧力を上昇させたと知らされました——。

●イギリスの失明報告（2021年9月9日の[レポート](#)）

「英国では402人がmRNAワクチンで失明しました」

●妊娠28週5日で新型コロナワクチン接種を行った女性。2日後の2020年12月25日、おなかの赤ちゃんが動かなくなった。翌26日、赤ちゃんの心拍停止が発覚（死産）（[参照記事](#)）

●アメリカVAERSの「新型コロナワクチンによる流産・早産・胎児の異常に関する事例（[参照記事](#)）」

「2020年12月27日、患者は注射部位の不快感を発症した。12月29日、患者は気分が悪くなり仕事を早退した。非常に疲れていて少しめまいがした。彼女は地元の緊急病院に行き、血液検査と検査が完了した。この検査で、彼女が赤ちゃんを失ったことを知った（赤ちゃんの心拍なし）。報告によると、他のすべての血液検査に問題はなかった」

「2020年12月26日にワクチンを接種したとき、私は妊娠約6週目でした。2021年1月1日に流産しました。私は2019年に健康な満期妊娠の妊娠歴があります」

「2020年12月17日にワクチン接種。12月31日に流産しました。私は妊娠5週でした。これが私の最初の妊娠でした」

「赤ちゃんの推定在胎週数=4週間。ワクチン接種後4日目（2021年1月11日）に大量の出血が始まり、研究室で流産が確認された」

「私は2021年1月15日にワクチンを接種しました。妊娠12週と4日目でした。DNA検査はその週は

正常で、お腹の赤ちゃんは男の子でした。4日前の超音波検査も正常でした。1月19日に、**赤ちゃんの心拍が停止**しました。私の出産予定日は7月26日でした」

「2021年1月12日に接種。1月18日に**死産**。接種時には妊娠18週だった。2回目の妊娠で、この患者は医師だった。それまでの妊娠は完全に正常だったという。1月18日、おそらく胎盤早期剥離のために大量の膣からの出血を起こし始め、18週目に出産した。赤ちゃんは死産だった」

●**ワクチン接種をした母親の母乳を飲んだ赤ちゃんに湿疹が！** ([参照記事](#))

「授乳中の母親がコロナワクチンを受けると、その赤ちゃんに影響が出るという話を聞いたことがありますか？これ、きのう（3月8日）撮った私の甥の写真です。この子の母親は土曜日（3月6日）にワクチン接種を受けました」

●**リンシーさんの赤ちゃんが、授乳後発疹だらけになり入院。体調が悪化し死亡** ([参照記事](#))

「リンシーは先週の水曜日に2回目のワクチン接種を受けました。翌日の木曜日、リンシーの授乳中の赤ちゃんが、頭からつま先まで、発疹だらけになりました。その日の夜、どうにもならないくらいにぐったりしてきたので、すぐに救急に行きました。赤ちゃんは血小板減少性紫斑病と診断されました。入院して様々な治療を受けましたが、どんどん体調が悪化し、昨晚亡くなりました」

●**生後5か月の赤ちゃんは、母親が新型コロナワクチンを接種してから数時間以内に重病になり、悲劇的に亡くなりました** ([参照記事](#))

——赤ちゃんの母親は、2021年3月17日にファイザーワクチン2回目接種を受けた。しかし翌日、生後5か月の母乳で育てられた赤ちゃんは発疹・発熱。

治療のために入院していましたが、悲劇的に衰弱し、わずか2日後の3月20日に亡くなりました——。

●**新型コロナワクチン接種をした母親から生まれた赤ちゃん。体の異常な痙攣が止まらない事態に** ([参照動画](#))

——病院や医師からは「ワクチンを打たないと入院できない」と言われました。

そのようなプレッシャーと、赤ちゃんの健康への不安からお腹の赤ちゃんの健康を考えると、仕方なく応じることにしました。

新型コロナワクチンを受けました。現在、赤ちゃんは入院中です——。

●**参照記事：[「報告は氷山の一角！コロナワクチン接種後の副反応、死亡のツイートが多すぎて戦慄！」](#)**

●**参照記事：[「新型コロナワクチンによる死亡・重篤副作用の数々」](#)**

●参照記事：[「新型コロナウイルスワクチンの厳選情報まとめ」](#)

●参照記事：[「コロナワクチン被害症例集2」](#)

●参照記事：[「コロナワクチン被害症例集4」](#)

●検索サイト：[「コロナワクチン 副反応データベース検索」](#)

●検索サイト：[「Statistics and Research Coronavirus Pandemic \(COVID-19\)」](#)

●検索サイト：[「VAERS COVID Vaccine Adverse Event Reports」](#)

P221～

●カナダの13歳の女の子は、ワクチン接種後に心臓が止まってしまい重体に（動画）

——娘が学校から連絡してきました。とても動揺していました。

彼女の友人の一人が、ここハリファックス（カナダのノバスコシア州の州都）の病院で重体になっているというのです。

心臓が止まってしまったから。ワクチンを打った直後で、今は調子が悪いそうです。

彼女は息ができません。

彼女の心臓は止まり続けています。

彼女は13歳です。

13歳です。そして彼女の心臓は止まりました。

心臓が止まった13歳の子を知っている人はどれくらいいるのでしょうか？

これは、政府が私たち全員と子供たちに強要していることです。

ハリファックスの13歳の女の子は、ワクチン接種後に心臓が止まってしまい、今、病院にいます。

それは私の娘の友人です。

彼女は私の家に来たことがあります。

彼女は私の家に来て、一緒に食事をしました。

世界中で子供たちが死んでいる。

世界中で大人がこのワクチンで死んでいるのよ。

今、この子の最悪の部分が何か知りたいですか？

彼女は私の家に来て、ワクチンはいらない、受けないと言ったのです。

彼女の両親は彼女の決断を尊重しました。

しかし、ヒューストン首相（ノバスコシア州）が、子供たちがワクチンを受けられるように義務付けることを決定しました。

子供たちがスポーツをするためにワクチンを義務付けることを決めました。

彼女は他に選択肢がないと感じました。

なぜなら、彼女はサッカーが大好きだからです——。

●フランスの16歳の女の子が、2回目接種後に死亡（動画）

——ソフィア・ベンハリラ（16歳）は、ファイザーの予防接種を受けて亡くなりました。

接種を受けてから7日後の9月21日に亡くなりました。

2回の心臓発作と1回の血栓症で——。

彼女の叔母の証言。

「彼女には特別な病歴はなく、完全な健康状態でしたが血栓ができました。彼女は9月14日に2回目の投与を受けました」

●18歳の男の子が、ワクチンによる血栓と血小板減少で脳内出血を発症し、死亡（参照記事）

——18才の男子がアストラゼネカのワクチンを接種後、頭痛と嘔吐を繰り返し、救急車で病院に運ばれた。

ワクチンによる血栓と血小板減少で脳内出血を発症し、治療の甲斐なく悪化の一步を辿り、入院後7日で死亡した——。

●イタリアの14歳の女の子が、2回目接種後昏睡状態に。1か月後に死亡（参照記事）

——14歳の少女が、2回目のファイザーCOVID-19ワクチンを接種してから1か月後に死亡しました。

マジダ（Majda ElAzrak）は8月17日に2回目接種をしました。彼女は翌日ひどい頭痛がして、8月19日に入院。彼女は数時間後に昏睡状態に陥った。モロッコ出身の少女は9月13日に亡くなりました。医者投与ワクチンは調査中です。

彼女の両親は、刑事弁護士のパスクアーレ・スコッラーノの支援を受けて、ワクチンを投与した医師を起訴しました。

「家族には何が起こったのかを知る権利があります」

と、パスクアーレは言いました。検察官のドナティナ・ブッフェリは、徹底的な調査を実施し、確定診断を確立するために必要なすべての情報を取得するために検死を命じました——。

●ファイザー社のワクチン接種後、12歳のマディ（Maddie）さんが重度の記憶喪失に陥り、現在は車椅子で生活（参照記事）

●日本の小学校6年生の女の子がワクチン接種後に亡くなったが、学校は事実を隠蔽！？（参照記事）

女の子の地元の議員さんの声。

——和歌山県のコロナ問題を考える会の仲間の中に、「〇〇〇小学校」の保護者やその周辺に住んでる方がいて、6年生の元気な女の子がワクチンで亡くなったと教えてくれました。

学校や教育委員会は「不慮の事故」として処理し押し通していますが、子供達はワクチン死だとわかっているようです。

保護者の中には自殺を疑う人もいるようですが、元気な女の子でそんなタイプの子供ではないようです。

医者はワクチン死をなかなか認めないし、デリケートな問題だから大事にならないように「不慮の事故」で幕

引きをしたいのかもしれませんが、事実に向き合わない卑怯な大人のやり方では、女の子の死が闇に葬られるだけで何も変わりません。

そして、女の子の同級生でワクチンを打っている子供達の心身のケアに真正面から向き合うことも放棄していると思います。

このラインを読んで言葉を失いました…

一番起きて欲しくなかった事が起きて始めています——。

●日本の高校生が複数名、新型コロナワクチン接種後に死亡

以下は、中村篤史医師のブログ記事より引用：[「ワクチンで死ぬ子供たち」](#)

——コロナワクチンを打った高校生のなかには、すでに死亡者が出ている。

しかし今のところ、マスコミで報道されていない。無論、報道規制である。

当局にとって、いわば、今が「かきいれどき」である。イケイケどんどんで、とにかく若年者にワクチンを打ちまくりたい。打ちまくって、若年者の接種率を上げたい。

こんな重要なときに、マスコミが高校生の死亡を報じては、大きな騒ぎになり、ワクチン接種がストップしてしまう。だから、報じない。

しかし僕はマスコミではないので、当局には忖度しない。だから、ここに紹介する——。

<N高校2年生>

「先週土曜日、同じ学年の友人がワクチンを打って亡くなりました。バスケ部所属で、持病なんて何もなかったと思う。

夏休みにファイザーの1回目を打って、ちょっと前に2回目を打った。亡くなったのが土曜日で、月曜日には学年で黙祷をしました。

化学の先生が「もう20年以上教員やってるけどこんなふうには生徒が死んだのは初めてだ」と悲しんでいました。

あくまで僕の場合で正確なアンケートをとったわけではないけど、1クラスに5人は副反応で休んでいる印象です。2回目はやっぱり副反応がきつくて、学校側もリモートで授業に出れるようにするとか、何かと配慮しています。欠席がかさむと大学の推薦をもらうのに差し支えたりするので。

あと、2日前に1年生が亡くなったって話も聞きました。夏休みにモデルナの1回目を接種して、2回目を最近打ったと聞いています。友達ではないので、名前とか詳しいことは知りません。

うちのクラスは40人いて、2回接種済みの人が7人、1回接種済みの人が15人以上はいると思います。

僕は絶対打たない。でも、かといってクラスメートに『絶対打ちちゃダメだ!』と説得するわけでもないですが。

塾に行ってるので、他の高校の話も聞こえてきます。

K高校の友達が、高1で1人死んだ人がいると言っていたし、M高校の友達も高3で1人死んだのがいるって言っていました。

だから僕は、彼らと約束したんです。『俺ら絶対ワクチン打つのやめとこうな』って。『ワクチン打たない同盟』です(笑)

中等部のことは詳しく知らないけど、副反応でずっと休んでる子がいる、という話は聞いています。まじめな女子で、皆勤賞だった子が、夏休み以来一度も登校してないって。Zoomでも授業参加してないっていうから、

入院してるのかもしれない」

——診察に来た高校生とちょっと話ただけで、ワクチンで死んだ生徒の話がポンポン出てくる。

各私立高校で1・2人の死者が出ているとすれば、全国的には相当数の高校生が死んでいると思われる。

あのワクチンを大事な我が子に打たせるということは、まず、コロナ脳の親に違いない。

単純にテレビの言うことを信じていてワクチンの危険性をまったく知らなかったか、あるいは危険性について多少風のうわさで聞いていても、「打つリスクと打たないリスク」を天秤にかけ、打つことに決めたか。

いずれにせよ、親は善意である。つまり、よかれと思ってワクチンを打った。結果、我が子を失った。

こういう不幸をひとつでも減らさねばならない。

ワクチン接種により若年男子に心筋炎が多発することについては、ずいぶん前から指摘してきた——。

●日本の中学生がワクチン接種後に死亡

以下、内海聡医師のSNSより引用：[「中高生の死亡者が増えている」](#)

「今日も一人、中学生の弟の友達がワクチン打って死んだ、という話を直接中学生に聞いた。とにかく多い」

——子どもがワクチンで死んだとなると、ソースはどこだ、根拠はどこだというバカが多数騒ぎ出す。

根拠は現場であり聴取だ。そんなバカどもに示すはずもなく、示したら供給元がどうなるかわからないのがコロナ脳。

しかしそんなことより問題は、統計も結局は一例二例の積み上げであり、現場が正常でなければ拾い上げれないという点だ。

私が聞いた死んだ事例はおそらく国に報告されていない。打つ親が報告するはずもなく、そんな親が行った病院が報告するはずもない。本件も因果関係不明で終わりなのだ。

じゃあどうやって判断しているかって、わざと素人的に判断するのだ。

元々病気もない元気だった子が、ワクチン打って数日後に死んだという事実だけをみるのだ。

もしかしたらワクチンのせいではないかもしれない。

しかし医原病研究や薬害研究の専門領域では、まずワクチンの影響を第一に考え、完全に否定要素がなければ因果関係ありうる、なのだ。

もちろん御用学者、テレビ、大病院、政府の世界では逆だ。

それは絶対やってはいけないことであり、ごまかし捏造するために存在するのが科学なのだ——。

●フランスの13歳の男の子がコロナワクチン接種後に失明（動画）

——ドキュメンタリー「Children of Freedom」の撮影中にヤシネ（Yassine）君は、「目が覚めたら目が見えなくなっていた」と語った。

「ワクチンを打った直後にヤシネは何も見えなくなっていました。ワクチン以外の原因はありません」

と母親は言った。

専門家によると、ヤシネ君はファイザー社のコロナワクチンに関連した角膜血栓症を患っている。

ヤシネ君の話。

「以前は良く見えていたのに、ワクチンを接種後、見えなくなった」

●14才の少年がファイザー社のワクチンを接種して2時間後に大量の脳出血を発症して死亡 (参照記事)

——ガイアナ (中南米) のジョージタウンに住む14才の少年、ジョシュア・ヘンリー (Joshua Henry) 君は、ファイザー社の2回目のコロナワクチンを接種して2時間後に死亡した。

10月4日にワクチンを接種した後、家に戻り、倒れる直前に気分が悪いと両親に訴えた。そして、病院に向かう途中で死亡した。

政府の病理学者による検死の結果、ジョシュア君の死因は脳動脈瘤であり、脳内で大出血を起こした後、倒れて死亡したことが分かった。

4人の子供の長男で、9月22日に14才の誕生日を迎えたばかりだった。サンタ・ローザ中学校の3年生で、彼の死は彼の家族や友人に衝撃を与えた。

彼は、勇気があり、従順な子供だったと言われている。お父さんによると、ジョシュア君は、7年前に心臓病を患ったこともあったが、その後の7年は、健康で正常だった——。

●ブラジルの16歳の女の子がファイザーワクチン接種後に死亡 (参照記事)

——イザベリは8月25日にファイザーワクチンを接種しました。彼女は9月2日に心臓関連の問題で亡くなりました。

イザベリは、ワクチン接種の翌日、めまい、頭痛、息切れ、眠気などの症状がありました。29日(日)、母親(クリスティーナ)は、体がチクチクすることを訴えた後、彼女を病院に連れて行った。「主治医は、これらの症状はワクチンのために心理的である可能性があり、彼女は退院すると述べました。病院を出る前に、イザベリは亡くなりました」と母親は言いました。

若い学生はサンパウロの病院に移送され、そこで赤血球とヘモグロビンのレベルが極端に低く、8袋の血液の輸血が必要であることがわかりました。発作後、彼女は集中治療室に運ばれました。彼女は9月2日に亡くなりました。

クリスティーナは、イザベリがディズニーに行くために必要だったのでワクチンを打ったと言いました。それは彼女の夢でした。「彼女はいつもとても献身的でした。それは私たち二人だけでした。彼女は私の人生であり、私の生きる理由でした」とクリスティーナは言いました。

クリスティーナは、「死亡診断書は、彼女の娘が心原性ショック、急性心筋梗塞(心臓発作)、重度の貧血の3つの原因で死亡したことを示しています」と述べています。

ブラジルの保健大臣は、12~17歳の人々に対するワクチンへの望ましくない反応に基づいて、この年齢層の接種を一時停止し、彼女の突然死の調査を開始しました——。

●イタリアの13才の女の子がファイザー社のワクチンを接種して24時間以内に死亡 (参照記事)

——イタリアの13才の少女アリアンナ(Arianna)さんが、ファイザー社の2回目のコロナワクチンを接種してから24時間以内に亡くなるという痛ましい出来事が発生した。

アリアンナさんは、イタリアのプッリャ州レッツェ県の自治体トレプツィに住む、バンジ科学高校の1年生だった。

9月30日(木曜)の朝にワクチンを接種した。帰宅後、4時頃に体調を崩し、ヴィト・ファッツィ病院の緊急

治療室に運ばれたが、医師の治療の甲斐なく、数時間後、死亡した。

彼女が住むトレッツィには、悲惨なニュースが流れ、地域全体が絶望に陥ったが、人々は、この恐ろしい悲劇に同情の声を上げた。レッツェ島の検察庁は、彼女の突然死について調査を開始する見込みである。

今後、ヴィト・ファッツィ病院のジョバンニ・セリオ院長と検視官のアルベルト・トルテッラ氏による検死が行われ、ファイザー社の2回目のワクチン投与と24時間後の突然の心停止との間に相関関係があるかどうか明らかになる予定である――。

●ノースウェスタン大学の学生は、コロナワクチン接種後に心筋炎を発症。手術をしたが死亡 [\(参照記事\)](#)

――イリノイ州エバンストンのノースウェスタン大学のシモーネ・スコットさん(19歳)は、2021年5月1日に2回目のモデルナワクチン接種を行った。

5月16日の朝、彼女は父親に「お父さん、私はとてもめまいがする。ベッドから起き上がれない」とメール。スコットの両親は何百マイルも離れたところに住んでいるので、父親はキャンパス・ポリスに連絡して、彼女の様子を見てもらった。

あまりにもひどい状態だったので、医師が彼女の胸に飛び乗って心肺蘇生法を施さなければならなかった。

救急隊員は、スコットに心臓の機能を模倣するECMO装置を取り付け、彼女自身の心臓を休ませる機会を与えた。何度も蘇生を試みた後、医師はスコットに心臓移植が必要であることを認識した。

その後、スコットは手術を受けることになったが、結局失敗に終わった。2回目のモデルナワクチンに含まれるmRNA化学物質があまりにも強力で、最終的には彼女の命を奪ってしまったのだが、医療システムはその事実を認めようとしなない。

スコットさんの公式な死因は「未確認」のまま、医師が説明できるのは心筋炎だけだという――。

●13歳のミシガン州サギノー郡の男子が、2回目のコロナワクチン接種の3日後に死亡 [\(参照記事\)](#)

「ジェイコブ・クリニック君は、6月13日に2回目のワクチン接種を受け、15日の夜、睡眠中に死亡した」

●イタリアの16才の女の子ジュリア・ルセンチ (Giulia Lucenti) さんが、ファイザーワクチン接種の翌日に死亡 [\(参照記事\)](#)

「ジュリアはロボット工学の分野で海外で働くことができることを夢見ていた」

健康状態は良好だったが、先天性疾患である僧帽弁逸脱症を持っていたため、ワクチン接種を勧められ、ファイザー社のワクチンを接種したら翌日に亡くなった。

家族の正当な疑問と、ワクチン接種とこの早すぎる死との間の関連性について回答を求める声があがった。 [\(参照動画\)](#)

●イスラエルの16歳男子が、ワクチン接種後に致命的な不整脈を発症し、心肺蘇生処置 [\(参照動画\)](#)

イスラエルの緊急治療室 Ramon 医師のコメント。

「致命的な不整脈を発症した16才の少年を心肺蘇生処置した。彼はワクチン接種済で持病はなかった。保健省が本件を調査するか不明だが、統計が本物か確認する必要がある。子供達にワクチン接種を強制してはいけない。現状ワクチンが安全だという十分なデータはない」

●スロベニアでのコロナワクチン接種で子供が死亡したため、政府はキャンペーンを止めた [\(参照記事\)](#)

ワクチン接種諮問グループの責任者、ボジャナ・ベオビッチのコメント。

「スロベニアで重篤な有害事象が発生しました。私たちは皆、この出来事に深くショックを受けています。家族と少女のすべての親戚に心からお悔やみ申し上げます」

●ギリシャの15才の少年 Elias Georgakopoulos 君は、ファイザー社のワクチンを初回接種して3日後に死亡 [\(参照動画\)](#)

——2021年9月15日、Elias 君の葬儀が、悲しみと疑問の中、アルカディアのマンテイカ村の教会で、親族や友人たちが最後のお別れをした。

お兄さんによれば、亡くなった Elias 君は、完全に健康で活発な少年だった——。

「弟はとても強い子で、何かにつけて文句を言わなかった。弟の学校でワクチンの話が出ていたため、弟は金曜日にトリポリのワクチン接種センターにワクチン接種を受けに行った。家に帰ってきたら元気だった」

「ただ、腕を触ると少し痛みがあると言っていた。日曜日には、次の日に学校に行くための学校の用意をして眠りについた。朝、妹が学校のために彼を起こしに行ったが、彼はベッドで死んでいた。ワクチンの副反応のせいで死んだと考えているが、当局は、隠蔽しようとするだろう。我々は、答えが出るまで、あらゆる行動をする。他の子どもたちを救うために法的措置を取る」

●オーストラリアの19歳女性が、ワクチン接種後に血栓被害に [\(参照動画\)](#)

Cienna Knowles さんは、とても健康なオーストラリアの19才の馬術競技者。

彼女はワクチンを接種したくなかったが、仕事を続けるためにファイザー社のワクチン接種。その後、足、胃、肺が血栓だらけになった。

肺にできた血栓は「肋骨が折れた」のと同じで、呼吸をするのも苦痛……。 [\(参照記事\)](#)

●パキスタンの13歳少年が、ワクチン強制接種により死亡 [\(参照動画\)](#)

「パキスタンの13歳の少年は、学校での強制予防接種後に亡くなりました。現在、12歳以上の子供に予防接種をするために学校に接種チームを派遣している」

●中国江蘇省揚州市の中学生がコロナワクチン接種直後に死亡 ([参照動画](#))

——江蘇省揚州市江都区郭村の中学生が、党の予防接種会場で予防接種中にその場で失神し、ネットユーザーが蘇生できずに死亡した様子を撮影しており、その動画を公開しました。

政府当局は、8月から9月にかけて、12歳以上の人民に予防接種を完了するよう要請していました——。

●中国の12歳の女の子がワクチン接種して7日後に死亡 ([参照動画](#))

——中国ではワクチンの強制接種が行われていますが、多くの人々が深刻な副反応を起こしています。

河南省濮陽市在住のシングルマザー蔣艶紅さんは、12歳の娘がワクチン接種後、高熱を発症し、7日後に死亡したと訴えています——。

●接種後、アナフィラキシー・血栓・呼吸困難に ([参照動画](#))

——コロナワクチン接種を、検討されてらっしゃる方へ。

わたしは、大丈夫！ではなくご自身やご家族に同じように降りかかる副反応かもしれないのです。

彼女は、アストラゼネカワクチンを打った後、アレルギー反応を起こし、アナフィラキシーショック、血栓、過呼吸、呼吸困難に——。

●母親はファイザーの予防接種を受けました。生後1ヶ月の赤ちゃんは、母乳で育てた結果、全身にとてつもない量の水疱が ([参照動画](#))

●フランスの看護師「妊婦さんが注射するようになってから毎日奇形や、手足がない赤ちゃんが生まれている」

「妊娠中に従姉妹が注射（コロナワクチン）をしたら、3～4日前に生まれてきた赤ちゃんの手がこんなふう（奇形）になってた。看護師さんの話によれば妊婦さんが注射するようになってから毎日このような奇形や、手足がない赤ちゃんが生まれているそう」

●日本でも、新型コロナワクチンを接種した母親から生まれた赤ちゃんの奇形が報告されている ([参考資料](#))

●スコット・マクラクラン博士 (Dr Scott McLachlan) の証言 (参照記事)

「私は、年間8000人以上が出産する大規模な病院の分娩室で、動揺している助産師と話をした。今月、一見健康そうに生まれてきた赤ちゃんが、48～72時間以内に肺血腫で死亡するケースが相次いでいるという」
「この赤ちゃんの母親は全員、出産前か授乳中にワクチン接種していた」(参照動画)

●コロラド州の15歳の少年、死亡。ファイザー製ワクチン接種から2日後 (参照記事)

——コロラド州の15歳の少年が、ファイザー社の注射を受けたわずか2日後に心臓発作で死亡。
VAERSデータベースでは、彼が他の病気や既往症、既知のアレルギー、先天性障害、後遺障害を持たなかったことも明らかになっている——。(VAERSのデータ)

●VAERSによる報告。アメリカでコロナワクチン接種をした6歳～17歳の子供たち73人が失明。48人が聴覚を失う (参照動画)

——赤ちゃんたちはこのワクチンで失明したり耳が聞こえなくなっています。
私たちはこのディストピアの悪夢の最も暗い部分に入ろうとしているのです。
感染も他人にも感染させない赤ちゃんや子供たちにこの毒ワクチンを強制して。
最新の数字が入ってきました。このワクチンがいかにキラーワクチンなのか数字を見ていきましょう。
そこには6歳～17歳の子供の73人が失明したと書かれています。
そして、同じく6歳～17歳のグループの48人の子供たちは、生涯耳が聞こえなくなったと報告されています。

ついこの前の2021年9月5日時点でのVAERSの接種後の報告からです。
そして、新しい論文も出てきました。今査読中なのでこれは前刷りです。
これはカリフォルニア大学デービス校の全国のデータベースと分析です。
そしてそれは、12歳～17歳の心臓の損傷を暴露しています。
12歳～17歳の子供たちにおける新型コロナワクチンに関する心筋炎、層別分析と書かれています。
そして見て下さい、この図の棒グラフを。これは心臓の損傷の人数です。明らかにたくさんです。特に2回目の接種後。

しかし、その重大度は長期的なダメージとしては全く不明です。
一方、ファイザーは、8月23日に12歳～15歳への緊急使用許可を与えられましたが、彼らはこれらの一生の障害やこれまで見てきた14人の子供たちの死を無視して、2歳～11歳に枠を広げる準備を既に行っている事を覚えておく事が重要です。
私は医師や情弱な親たちが、「でも100万人に比べればまだ数が少ないね」と言っているのにうんざりしています。

では、このリスクを説明しましょう。
12歳～17歳の男子で併存症なし、すなわち接種前は全く健康だった男の子たちについては、接種後の心臓の有害事象の可能性が100万人あたり162人になっています。
これは彼らがコロナ感染で入院する率より4倍も高いのです——。

① 基礎疾患など重症化因子複数の事例

「吉村知事は会見で『個人の情報があるので、詳しいことは伝えられない』としながら、『状況として**基礎疾患**がある。加えて、**複数の重症化リスク、因子**がある。ワクチンは未接種の方です』と説明。さらに、年齢は10代後半。今月9月1日に救急搬送され、搬送先の病院で、コロナの疑いがあると検査をして、陽性と判明したという。**搬送時にすでに重症の状態**だったため、搬送された重症治療ができる病院で治療したが、7日になくなったという」([参照記事](#))

・・・個人情報として吉村知事は詳細を語らないが、「搬送時にすでに重症の状態→搬送先の病院でPCR検査陽性→その後死亡」という流れから見ても死因は基礎疾患が重症化したものと見てよい。PCRは偽陽性かも知れず、**コロナ感染とは無関係なケースをコロナ感染死カウントしている可能性がある。**

仮に、本当にコロナ感染していたとしても、今までの感染症なら**基礎疾患が感染症に影響し悪化して死亡した場合、死亡診断書は基礎疾患名が書かれるのが当たり前。**

だが、厚生労働省は、2020年6月18日付けで、[「各都道府県・保健所設置市・特別区の衛生主管部あての連絡文書」](#)の中で、次のような回答をしている。

「新型コロナウイルス感染症の陽性者であって、入院中や療養中に亡くなった方については、**厳密な死因を問わず、『死亡者数』として全数を公表するよう**お願いいたします」

② 事故死した後、PCR陽性が出ただけの事例

「都によると、10代男性の**死因は事故**。死亡後に検査し陽性が判明した。事故の詳細は公表せず、『感染と事故は無関係とみられる』としている。都内で10代の感染者の死亡が確認されたのは初めて。新型コロナ感染の届け出が都内の医療機関だったため、都内の死者として計上された(2021年9月22日)」([参照記事](#))

厚労省が発表した10代の新型コロナワクチン死亡事例を以下に挙げておく。

① 16歳男性死亡

No.21629 16歳 男性 接種日 2021/07/15 発生日 2021/07/23 **自殺既遂** 死亡 コミナティ筋注(ファイザー) EY0583(ロット番号)

(タミフルで異常行動による飛び降り問題になったが、ワクチン接種後に自殺行為に及ぶ例がほかにも報告されている。)

② 16歳男性死亡

No.23831 16歳 男性 接種日 2021/08/10 発生日 2021/08/16 **心停止** 死亡 コミナティ筋注(ファイザー) FF0843(ロット番号)

【性別】男性

【接種日】2021/8/10(1回目)

【副反応発生日】2021/8/16 → 9/1

【経過】

8 / 16 心肺停止で救急搬送

9 / 1 非閉塞性腸管虚血

死因の判断→CT、血液検査、心電図

【医師の報告】評価不能。

【資料】第69回(資料1-2-3-1)

【症例NO.】No.1167

③15歳男性の死亡

【性別】男性

【既往歴／アレルギー】脳動静脈奇形

【接種日】2021/9/16 (モデルナ)

【副反応発生日】9/16

【経過】

9 / 16 頭痛、嘔吐後に意識障害で救急搬送。

9 / 20 死亡。

CTの結果、死因は脳出血と診断。

【医師の報告】評価不能。

【資料】第69回(資料2-3-2)

【症例NO.】No.36

<https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000838221.pdf>

●参照記事：[「ファイザー社 子供向けワクチン緊急使用許可を申請 2021年10月8日」](#)

—アメリカの大手製薬会社「ファイザー」は子ども向けに新型コロナウイルス・ワクチンの緊急使用許可を申請したと発表しました。

ファイザー社は新型コロナワクチンについて5歳から11歳の子どもの向けに緊急使用できるようアメリカのFDA（食品医薬品局）に申請したと発表しました。

これを受けてFDAは今年26日に承認を審議する第三者委員会を開きます。

現在、アメリカでは12歳以上への接種が認められている一方、学校での子どもの感染拡大が深刻化しています。

ホワイトハウス関係者は早ければ来月下旬までにはワクチン接種を始められるとの見通しを示しています—。

・・・もちろん、メディアが報道する内容は嘘だらけであり、子供の新型コロナによる重症化・死亡リスクは極めて低く、ワクチンを打つ必要性はない事はこれまで述べてきた内容からも明らかだ。

だが、さもそれが子供のためになるかのような空気を作り上げ、推進しようとする国や製薬メーカーは目論んでいる。

このような動きに対し、ブライアン・アーデイス医師は、2021年9月2日のインタビューで、子供たちに降りかかろうとしている危険に警鐘を鳴らしている。[\(参照動画\)](#)

●参照動画 [「今年、ポリオのような感染症がなぜ発生するのか？ブライアン・アーディス医師」](#)

●参照記事：[「米国は4か月でポリオのような病気の発生を警告 US Warns Of Polio-Like Illness Outbreak In Four Months 2021年8月20日」](#)

ギラン・バレー症候群とは、末梢神経が障害されることによって、手足の力が入りにくい・脱力・しびれ・痛み・顔の麻痺・呼吸困難などの症状が引き起こされるもの。[\(参照記事\)](#)

●17歳のカナダ人の女の子が、2回目のファイザーワクチン接種後、左足の麻痺に [\(参照記事\)](#)

——ジャスミン・コモー (Jasmine Comeau) さんは、9月22日に2回目の注射を受けました。

父親のアンドレ・コモーによれば、彼女はすぐに「インフルエンザのような症状」と「窒息反応」を経験しました。

ジャスミンは、2回目の注射後4日以内に、脚と足の両方の感覚を失いました。

彼女はまた、全身の耐え難いほどの痛みとともに、彼女の体全体に恐ろしい「しびれ」感を感じました。

彼女はホライゾンのミラミチ地域病院に入院し、そこで4日間一連の検査を受けました。医者はジャスミンを歩行者と一緒に退院させました、そして彼女の状態についての説明はありませんでした。

痛みが激しくなり、10月1日までにジャスミンは一人で動き回ることができなくなりました。彼女の左足は本質的に麻痺していました。

ジャスミンの母親は、実際には正確な言葉を言わずに、本質的に娘の状態を「ギラン・バレー症候群」と表現しました。

ジャスミンと彼女の家族が確かに知っている唯一のことは、ファイザーのmRNAワクチンが彼女の状態を引き起こしたということです——。

ちなみに、すでにアメリカでは、2021年の15～19歳の死亡者数が、2020年と比べて激増している。[\(参照記事\)](#)

これは新型コロナワクチン開始後、10代の死亡者が56%も増加しているからだ。

もちろん、日本も対岸の火事ではない。

●参照記事：[「今季はインフルエンザ大流行の可能性 インフルワクチンいつ打てばいい？ 2021年10月4日」](#)

●参照記事：[「3回目接種実施決定『間隔8カ月以上』 医師らに年内にも 2021年9月17日」](#)

そして、大人への接種でもすでにギラン・バレー症候群や麻痺症状は発生しており、子供だけでなく大人にも注意が必要だ。

崎谷博征医師も、ブログで次のような警鐘を鳴らしている。

●参照記事：[「ジョンソン&ジョンソンの遺伝子ワクチンとギラン・バレー症候群」](#)

——末梢の神経に炎症が起こり、手足や呼吸筋に麻痺が出る自己免疫疾患を「ギラン・バレー症候群」と呼んでいます。

今回のジョンソン&ジョンソンの遺伝子ワクチン接種後には、この**ギラン・バレー症候群が、自然発症よりも4倍の頻度で発生している**ことが報告されました。

これは、2021年2月～7月における米国のワクチン有害事象報告システム（VAERS）でデータを解析したものです。

2021年7月24日時点で、VAERSにおいて遺伝子ワクチン接種後のギラン・バレー症候群発症の報告は130例確認されています。18～29歳を除く**すべての年齢層で率比が上昇**していました。（註：若年層は、今後接種が盛んになるにつれ増えていくだろう。）

ギラン・バレー症候群は、一過性の神経の炎症で軽い疾患だと思われがちですが、実態はその逆です。

今回の遺伝子ワクチン関連ギラン・バレー症候群の**121例（93.1%）は重症で、うち1例は死亡**しています。

もちろん、遺伝子ワクチンによって起こる脳神経障害は、ギラン・バレー症候群以外にも複数あります。

高齢者で遺伝子ワクチン（ファイザー）の接種後、**急激に認知症を発症した例**も身近に聞いています（これは家族が気づいただけで、副作用の報告にはあがっていない）。

メインストリームの現代医学の論文やファクトチェックでは、**遺伝子ワクチンによる脳神経障害は極めて稀で、因果関係が明らかではないと喧伝**していますが、**エビデンスはその逆を示しています**。

脳神経障害に慢性炎症が起こるものは中長期的に発症してきますので、数年以内にはその真実が誰の目にも明らかになることでしょう——。

※その後、実際に、アメリカのニューヨーク州で「ポリオ流行」を声高に叫び出すという、予想通りの展開が生じている。

●参照記事：[「ニューヨーク州、ポリオで緊急事態 知事宣言、ワクチン促進へ（2022年9月10日）」](#)

——米東部ニューヨーク州のホークル知事は9日、ニューヨーク市や周辺でポリオ（小児まひ）のウイルスが拡散しているとして緊急事態宣言を出した。ワクチン投与の態勢を強化し、接種を呼びかける。

ポリオウイルスは口から入って神経を侵し、まひを引き起こす。ニューヨーク州は7月、米国で9年ぶりの感染確認を発表した。その後の調査で、ニューヨーク市や周辺の四つの郡で下水からウイルスが検出された。

州によると、うち三つの郡のワクチン接種率は6割前後。州全体でも約8割で、州は9割以上を目標としている——。

・・・もちろん、このペテン騒ぎの狙いは、新型コロナワクチン副作用を隠蔽すると共に、さらなるワクチン接種を勧めるための布石であろう。

●参照記事：[「報告は氷山の一角！コロナワクチン接種後の副反応、死亡のツイートが多すぎて戦慄！」](#)

●参照記事：[「新型コロナワクチンによる死亡・重篤副作用の数々」](#)

●参照記事：[「新型コロナワクチンの厳選情報まとめ」](#)

●参照記事：[「コロナワクチン死亡症例集」](#)

●参照記事：[「コロナワクチン死亡症例集2」](#)

●参照記事：[「コロナワクチン被害症例集2」](#)

●検索サイト：[「コロナワクチン 副反応データベース検索」](#)

●検索サイト：[「Statistics and Research Coronavirus Pandemic \(COVID-19\)」](#)

●検索サイト：[「VAERS COVID Vaccine Adverse Event Reports」](#)

P315～

PCR検査をやればやるほど、「偽陽性」患者を増やしてしまうからだ。

だから、PCRで陽性反応が出ても、それが新型コロナウイルスの存在を証明することにはならないし、新型コロナウイルスに感染していると診断してはいけないのだ。

世間で「PCR陽性＝新型コロナ感染」のように報道されているのは明らかな間違いであり、本当の意味での新型コロナ感染はPCRでは判別できない。

このことは、米国疾病予防センター（CDC）が認めていることで、新型コロナウイルス（SARS-COV-2）に対するPCR検査の注意事項として、

「PCR検査で検出されたウイルスの遺伝子は、感染性のウイルスの存在を示しているとは限らないし、新型コロナウイルスが臨床症状（肺炎など）の原因とは限らない」

と、記されている公の事実なのだ。

([『CDC 2019-Novel Coronavirus \(2019-nCoV\) Real-Time RT-PCR Diagnostic Panel』](#))

新型コロナウイルスの測定用の「PCRキット（SARS-CoV-2 Coronavirus Multiplex RT-qPCR Kit）」の説明書にも、

「PCRキットの検査の結果、陽性であっても、これをもって新型コロナウイルス感染症（COVID-19）と診断してはいけないし、ましてや治療の根拠としてはいけない」

と、注意書きがあり、

・ Influenza A Virus (H1N1)

- ・ Influenza B Virus (Yamagata)
- ・ Respiratory Syncytial Virus (type B)
- ・ Respiratory Adenovirus (type 3, type 7)
- ・ Parainfluenza Virus (type 2)
- ・ Mycoplasma Pneumoniae
- ・ Chlamydia Pneumoniae

など、他の様々なウイルスでも陽性となる事が記載されている。

●参照動画 [「新型コロナのPCR検査とは？（高橋徳医師の講演）」](#)

以下、ウィスコンシン医科大学名誉教授である高橋徳先生の解説を引用させていただく。

——PCR検査は、「Ct値」（増幅させるサイクル数）の設定を高くすれば、陽性反応が出やすくなってしまいう点も問題視されている。

実は、国や検査機関によって基準がバラバラなのが現状。

検査数を増やしたりCt値の設定をいじれば、いくらでもPCR陽性者が量産されてしまう。

このようなものを感染症診断に用いていけば、いつまでたっても騒ぎが収まらないのは当たり前であろう。（[参照記事](#)）

PCRは1回の増幅で2倍になるので、25回の増幅で3300万倍になる。

30回の増幅で10億倍、40回の増幅で1兆倍になる。30回と40回では千倍違う。25回と40回では3万倍違う。

ニューヨーク州の検査施設で行われたPCR検査では（2020年7月）、794人が陽性になったが、これは40回の増幅の結果だった。

同じ対象者に対し、増幅を35回にすると陽性者数が半分に減り、増幅30回にすると陽性者数の数は3割に減ってしまうことが分かった。

マサチューセッツ州の検査施設の計算によると、40回の増幅で陽性になった人の85～90%は、増幅を30回にすると陰性と判断される。

増幅回数（Ct値）は国によって設定が異なる。

台湾：36回

スウェーデン：36～38回

アメリカ：37～40回

日本：40～45回

新型コロナPCR測定キットの取扱説明書には次のように記載されている。

- ・ Ct値が37以下の場合：**新型コロナ陽性** と判断（※陽性＝感染という事ではない）
- ・ Ct値が40以上の場合：**新型コロナ陰性** と判断

その通りに設定しているのが台湾の36回。アメリカや日本はそれ以上のCt値に設定している。（PCRで陽性が出やすいような増幅回数に設定されている）

例えば、コスモ・バイオ株式会社（PCR検査を扱う日本の企業）のページにも、「Ct値は40回」と書かれている。

値段は、50回のテストで172000円

検査に要する実費：1検体につき3500円

患者への請求額：1検体につき15000円

1回PCR検査すると10000円以上の利益が得られるので、PCR検査を請け負う民間検査企業が急増。

WHOは次の勧告をしている。（2020年12月）

「PCRのCt値は低めに設定すること」

「Ct値をマニュアルでカットオフして、高いCt値による新型コロナウイルスのバックグラウンドノイズを無くすこと」

著名人のニュースで、

「新型コロナ陽性。体調に問題はなく平熱」

「新型コロナ感染。症状は無く自宅療養中」

と、流れる場合があるが、「無症状感染」を額面通り「PCR陽性＝コロナ感染者」とは受け取れない。

高いCt値（40以上）を設定して、活性のないウイルスをあぶり出している。あるいは、単にバックグラウンドのノイズを拾っているにすぎないからだ。

次のグラフは、「陽性者数とPCR検査の実施件数」を示したもの。（厚労省ホームページより）

「コロナ感染者増加の大きな波」と「PCR検査数増加」のタイミングが同じになっている事が分かる。

●参照記事：[「厚生労働省は、自粛の必要性について、その科学的根拠を示すべきである。また、新型コロナウイルスの存在を示す根拠となる科学論文を示すべきである」武田邦彦・吉野敏明・大橋眞・矢作直樹・藤井聡・内海聡・井上正康](#)

●記事引用元：[「新型コロナワクチン情報の厳選まとめ」](#)

●参照動画 [「カナダの病理学者、ロジャー・ホプキンソン医師の力強いメッセージ」](#)

P342～

●参照記事：[「WHOは、COVID-19の『疑わしい』症例をCOVID-19による死亡として記載する必要があると発表しました（ウイルス検査は不要）The WHO Announces “Suspected” Cases of COVID-19 Should Be Written As COVID-19 Deaths \(No Virus Test Required\)」](#)

●参考資料：[「COVID-19: ICD-10 CODING GUIDANCE 18 DECEMBER 2020」](#)

●参考資料：[「WHO’s COVID-19 Case Definitions \(Dec 2020\)」](#)

●参考資料：[「WHO’s Public Health Surveillance for COVID-19 \(Dec 2020\)」](#)

●参考資料：[「ICD-10 Version:2019」](#)

【②厚生省からの通達「新型コロナが死因でなくてもPCR陽性なら新型コロナ感染死とカウントせよ」】

では、日本はどうか？

厚生労働省は、2020年6月18日付けで、[各都道府県・保健所設置市・特別区の衛生主管部あての連絡文書](#)を送っている。

その中で、

「都道府県等の公表する死亡者数は、どうすべきか」

と、いう問いに対し、以下のように回答している。

「新型コロナウイルス感染症の陽性者であって、入院中や療養中に亡くなった方については、厳密な死因を問わず、『死亡者数』として全数を公表するようお願いいたします」

●参照記事：[「東京143人 3人目の感染した20代死者 2021年10月7日」](#)

「20代の女性は、事故などで病院に搬送され、搬送時に感染が判明しましたが、外傷により、その日に死亡しました。新型コロナに感染した20代が死亡するのは3人目です」

●参照記事：[「新型コロナウイルス感染症の『みなし陽性（臨床診断）』の運用を開始します 長野市HP」](#)

—新型コロナウイルス感染症者の急増に伴い、診療・検査医療機関への受診に一定の時間を要している現状を踏まえ、いわゆる「みなし陽性（臨床診断）」の運用を開始します。

「みなし陽性（臨床診断）」は、新型コロナウイルス感染者と同居等の濃厚接触者が有症状となった場合に、医師の判断により検査を行わず臨床症状で新型コロナウイルス感染症と診断する取り扱いを言います—。

●参照記事：[「The CDC is now listing vaccinated COVID-19 deaths as UNvaccinated deaths if they die within](#)

[14 days of the vaccine. \(CDCは現在、ワクチン接種後14日以内に死亡した場合、ワクチン接種済みのCOVID-19による死亡をワクチン未接種の死亡としてリストしています\)」](#)

●参考資料：[「When You' ve Been Fully Vaccinated」](#)

●参考資料：[「SARS-CoV-2 Infections and Hospitalizations Among Persons Aged ≥16 Years,by Vaccination Status - Los Angeles County, California, May 1-July 25, 2021」](#)

「ワクチン接種死」の事例が一つ消え、代わりに「ワクチン未接種者がコロナ感染死」の事例が一つ捏造される。これは驚愕の事態であり、アメリカでもこのペテン詐欺行為を非難する[動画](#)が発信されている。

——爆弾発言です。多くの医師の中の一人、シーモン・ゴールド医師です。

ちょうどデータを調べ、このことを把握した多くの医師の中の一人です。

しかしCDCは現在このように計上しています。

「ワクチン接種済みのコロナ患者の死者、もしくはワクチン接種済みの死者を接種後14日以内に死亡した場合は、ワクチン未接種者とカウントしています」

これはどういう事かと言うと・・・——。

ちょっと、ちょっと待ってください。

もし僕が注射を打って、1週間後に死んだとしたら・・・

「ワクチン未接種者の死」としてカウントされる？

——そう。あなたは全くの無駄死になります。あなたの死には何の意味もないからです。それは、

「ああ大変、この人はワクチンで死んだんだ。調べてみよう。この死を引き起こしているワクチンの副作用は何だろう？」

とはなりません。あなたはただ消えてしまうだけです——。

実際には逆に、私の死には何か意味が付くでしょう。

それは「コロナによる偽装された死」を意味するでしょう。

デルタ株、ミュー株、ラムダ株、ドゥームズデイ株などでステュー・ピーターズは死んだ、となるでしょう。

狂気の沙汰です、これは犯罪だ。

——完全に犯罪です。詐欺の域を超えています。

なぜなら、ワクチンを打ってから14日以内に死亡した人の全ては・・・あなたなら100%ワクチンに基づくと考えますよね？——

そうですね、はい。

——ですね、元々すごく健康であれば、ワクチンとの関連性はなおさらです。

しかし、彼らは今、

「ああ、14日以内なら、ワクチン未接種と同様にカウントしよう」

と言っています。

そうすると彼らは、未接種者の数字を増やして行って、また変異株のせいにして、「未接種者によるパンデミックだ」と言って釘を刺すのです。

一方、接種を終えた人たちは、彼らの死亡に対しておとがめなしで、死亡しても数字が上がるわけではありません——。

ワクチンがしかるべき非難を受けていない、ということですね？

——100%そうです——。

【④日本の医師会「ワクチン接種後の死亡報告を上げないことを決めた」！？ 死亡報告減少は、統計データ上に表れている】

真偽は不明だが、以下の情報がネット上で流れていた。[\(参照記事\)](#)

「医療関係者から聞きました。北海道医師会はじめ各県の医師会がワクチン接種後の死亡報告を上げないことを決めた。なぜなら本当の数字を上げると国民がパニックになるから。本当の情報が隠蔽されることが破滅への第一歩。日本終わった」

●引用記事：[「日本のワクチン死者は『報告数の23～38倍』、『累計1.7～2.9万人』～人口動態統計の分析より～」](#)

加えて、日本の新型コロナワクチン死1.7万～2.9万人という数字の妥当性を、米国CDCが管理する[有害事象報告システム \(VAERS\)](#)と比較検証している。

アメリカにおける7月23日時点で報告されている新型コロナワクチン死亡者数は**11940人**。

「VAERSには有害事象の1%未満しか報告されていない」

と、いう調査報告書が2010年に提出されているため、本当のワクチン死亡者数は、報告数より大幅に多いことが懸念されている。

アメリカでは、7月13日に、米国医師グループ「AMERICA'S FRONTLINE DOCTORS」などが、ワクチン緊急使用の停止を求め、アラバマ州の連邦地方裁判所へ[訴状](#)を提出しており、その中で、

「アメリカでの新型コロナワクチン関連の本当の死亡者数は**45000人以上**である」

と、いう内部告発者の情報を引用している。

●参照動画「[原告側の弁護士の1人である Thomas Renz 氏の講演](#)」

7月9日時点における米国の累計ワクチン接種回数は、3億2900万回。

内部告発者の証言どおりであれば、この時点で45000人以上が接種後3日以内にワクチン死したことになる。

この比率を日本の数字に適用すると、7月16日時点における日本の累計ワクチン接種回数は、7090万回。米国の比率をかけると、接種後3日以内のワクチン死が9700人以上、接種から4日以後の死亡を含むと**19000人以上**と算出される。

先ほどの、「**17000～29000人**」の数字の範疇に入ってくるのが分かるだろう。

●最前線のコロナ病棟で働く南フロリダの看護師（参照動画）

「新型コロナ感染者は、ほとんどワクチン未接種だ」

と、いう米国メディアの報道が嘘であると証言している。

彼女は、病棟内のほとんどのコロナ患者が、完全なワクチン接種者であることを目にしているという。

——先週の話ですがこういう事がありました。

完全に接種した3人が死亡しました。

左右の血栓が出来、深部静脈血栓症・肺塞栓。

血液希釈剤を投与されました。

これは接種後に起きました。

30歳の女性が、注射を打ってから文字通り48時間以内に出血を始めました。

このかわいそうな女性は2児の母です。

彼女は30歳で予防接種を受けたことを深く後悔していました。

これは1ヶ月前の事ですが、彼女は今、挿管された状態で危篤状態にあり命を懸けて戦っています。

子供たちを母なし子にしてしまう可能性があります。

もちろん彼女は1000%接種した事を後悔しています。

彼女はそれを認めています。

彼女の主治医も認めています。

なぜ嘘が続いているのか分かりません。

私は毎日見えています。

「90%は未接種者」という話です。それは嘘です。

私はこの1年と8ヶ月、あるいはもっと長い期間、前線になってきました。

それは完全な嘘です。

私は接種した人しか見ていません。

接種した人もいますが、嘘を信じないでください。

メディアを信じないでください。それは全てデタラメです——。

●アメリカの看護師の内部告発（参照動画）

「——新型コロナワクチン接種者が、実際に重大な健康被害を受けているのは本当ですか？」

ええ、間違いありません。それはたくさんのケースを見てきました。

同様の事を目撃している全国の同僚や仲間とも話しました。

発熱や悪寒や倦怠感について話しているのではなく、私たちが話しているのは脳卒中・心臓発作・血栓・重度の認知障害・バランスが崩れて歩く事が出来ない・ギランバレー症候群についてで、本当にショッキングです。

「私たちの医療業界で何が起きているのですか？なぜ医師たちは早期治療を拒否したり、ワクチンを拒否する人々を公然と差別したり、あからさまに治療することを拒否するのですか？」

認知的不協和と欺瞞としか答えようがありません。つまり、ひどい欺瞞です。説明ができません。こんな経験をしたことはありませんから。

今朝、同僚と話していたんですが、長い歴史の中で、私たちは喫煙者だろうと食べ過ぎで糖尿病や心臓病になった人だろうと、薬物の過剰接種者で生命維持装置をつけている人だろうと差別した事はありません。一度たりとも介護を差別した事はありません。

でも、このワクチンに関しては、突然、患者さんが病院に押し寄せてきても、それがワクチンのせいかもしれな

いと言う事すら話すことができないのです。

少し前にベル麻痺になってしまった患者さんには、臨床医は突発性のベル麻痺と診断書に書きました。

そこにいた医療スタッフはみんな聞いていました。

ワクチンを接種したばかりで、突発性のベル麻痺だと診断されたら、それは全然納得いきませんよ。

明らかにワクチンです。

「そうすると、突発性という意味が分からない人がそれを見たり聞いたりした場合、私たちは何が原因かもわからないわけですね。それは突然起きて原因はわからないと。一つ教えてください。これらの症状を訴えている人は、若い、どちらかという健康的な人たちですか？それとも心筋炎を患ったり、脳卒中や心臓病を抱えている人々ですか？」

いえ、全ての年代です——。

●ファイザーの内部告発者「1週間以内にワクチンで20万人近くが死亡」([参照動画](#))

シェリー・テンペニー博士：内部告発者の話を今させて下さい。ファイザーの内部の人が、泣きながら電話して、こう言ったんです。

「4万5千の書類を持っていて、私はそれをまだ見ていませんので、今の段階ではまだこれだけですが、私が受け取った書類では、1週間以内にワクチンで20万人近くが死亡しました」

●箝口令が敷かれていたオーストラリアの看護師たちが内部告発グループを結成「新型コロナワクチンによる傷害事件の病院で起きている実態を明らかにする」([参照記事](#))

——私はクイーンズランド州で地域看護師をしています。

ワクチンを接種したことで悪影響を受け、文字通り死にかけている患者を診て、ケアしています。緩和ケアは指数関数的に増加しており、人々は末期症状と診断され、すぐに死んでしまいます。私たちコミュニティナースは、1日に2～3人の緩和ケア患者を診ていますが、これは週に1～2人だったものが大幅に増加しています。また、ワクチンを接種していない緩和ケアの患者さんが、家族に説得されてワクチンを接種した場合、予想以上に早く亡くなってしまいます。

ワクチンを接種した人は、臨床的に「弱い」部分が悪化していることを指摘しています。

何年も白血病で非常に安定した寛解状態にあった70歳代の男性がいました。ワクチンを接種してから3週間後に白血球数が減少し、好中球減少症になりました。彼は突然、24時間以内に両脚の大腿部までの蜂巣炎を発症しました。9週間後、彼は亡くなりました。

刺された関節リウマチの人は、関連する一貫した再燃を経験している。明らかな理由もなく、あらゆる種類の皮膚感染症にかかる。彼らは常に薬を見直し、鎮痛剤を増やしています。

治療中の静脈性潰瘍を持つ3人の顧客は、3人とも注射を打ったが、3週間後に全員が治療困難な細菌による敗血症を発症した。

何年も薬を飲んで臨床的に安定していた心疾患の方が、突然安定しなくなりました。不整脈、不安定な血圧、失神、転倒、入院の増加。

皮膚癌が激増しています。非常に早く、積極的に成長している。

ワクチン接種を受けたお客様は、記憶の問題を抱える傾向があり、記憶喪失を伴うエピソード的な混乱の増加や、STMLの増加が見られます。

また、看護師の同僚でワクチン接種を受けた人は、病欠が増えていることに気づいています——。

——私は救急部でトリアージのアドミン・クラークとして働いていますが、私がこのワクチンを受けない理由は、3・4人に1人の割合で患者が副反応を訴えてくるからです。

心臓の鼓動が激しく、胸が締め付けられるようだと訴える人もいれば、視力の変化、しびれ、皮膚のトラブル、蜂巣炎、心膜炎、心筋炎、血栓、腫瘍と診断された若い男性や女性、同僚がベル麻痺になったこともあり、他にもたくさんあります。

私が驚いているのは、誰もそれに気づかないことです。若い患者さんは「ただの不安」と言われ、トリアージの看護師さんは「家でパナドールを飲んでいけばいいのに」などと目を丸くしています。

さらに、トリアージで2回接種を行った看護師が新型コロナに陽性反応を示し、入院して体調を崩しているにもかかわらず、「少なくとも私はワクチンを打っているから、もっとひどい目にあっていたかもしれない」と言っています。

信じられない！——

——私たちが同じような年代の個人開業の理学療法士のグループで、ワクチン接種された人にこのようなパターンの症状が見られます。

頭痛が顕著に見られます。加えて、足の変色（紫～赤）、関節の腫れ（クローン病の若い患者さんは杖をついていました）、ふくらはぎの腫れと張り、昔の怪我の再発や新しい関節の痛みなども見られます。

ドライニードル（非常に細い針を使って筋肉の拘縮・痙縮・緊張を弛緩させる手技）では、筋肉に炎症が起きているため、鍼が組織の中を「泳いで」います。患者さんは、医師から「注射は安全だ」と言われているため、こうした症状を報告したがります——。

——私は田舎の病院で働いている学生看護師です。

前回の勤務では、9人の患者さんが、自分の症状は新型コロナワクチンが原因だと確信しているが、仲間はずれにされるのが怖くて正看護師に言えないと私に囁いてきました。みんなが受けているから受けたのであって、自分で治療を決めたわけではありません。

私は多くの看護師や医師が休憩室でこのような人々を笑っているのを見たことがあります。このような患者をアンチバクサー（反ワクチン）と呼び、必要としている本当の患者のために彼らを追い出したいと思っていました。

私が学生時代の上司に話したところ、私が休憩中には看護師たちはその話をしなくなりましたが、私の後ろではまだそのような会話をしているような気がします——。

——私はニューサウスウェールズ州の正看護師です。

私には若い同僚がいますが、彼女もまた看護師で、ワクチンを望んでいませんでした。

義務化されているため、彼女は注射を受けました。最初の注射の後、彼女は腕に焼けるような痛みを感じました。容赦のない痛みです。2回目の注射の後、彼女は1週間寝たきりになりました。真っ直ぐに座ることもできませんでした。彼女はとても気分が悪く、動くこともできず、常に胸が痛んでいました。

寝たきりの1週間後、彼女は胸の痛みを抱えたまま仕事に戻りました。最終的に心筋炎で入院となりました。彼女は20代前半です。ワクチンを接種する前は健康で、健康上の問題はありませんでした。今、彼女は心臓の問題を抱えており、一生薬が必要になるかもしれません。

毎日、救急部では、脳卒中、肺塞栓症、不整脈、心筋炎、心内膜炎などの患者であふれています。脳卒中の数は急激に増加しています。次々と肺塞栓症や心臓疾患の患者が出てきます。ほとんどが以前は健康だった患者であ

る。

医師はワクチンとの関連性を否定しています——。

・・・医療従事者たちの訴えはまだまだある。ここではほんの一部のみを紹介するに留める。

ワクチン接種が始まってまだ数ヶ月。にも関わらず、すでに信じられないほどの被害が出ている。だが、ワクチン推進派たちは頑なに、

「安全性において重大な懸念は認められない」

と、言い張り、メディアは毎日繰り返しワクチンの偽情報を垂れ流す。

新型コロナワクチン接種が続けば続くほど、被害者はますます増えていき、隠蔽処理される事例が増すだろう。

もし、ワクチンが安全で有効だという主張が本当なら、なぜ被害事例を隠蔽したり、数を誤魔化そうとするのか？

自信があるのなら堂々と事実を曝け出せばいいだけではないか。

できないのは、実態が安全で有効ではないからだ。

大衆に知られてはパニックを起さるくらいとんでもない実態だから、こそこそと隠蔽しようとするのだ。

「大騒ぎにならないよう、オブラートに包む事。これが社会秩序のため、国民のためだ」

「みんなが知ればワクチン事業が頓挫する。デメリットを強調してしまえばメリットを享受できない人が出てきてしまい、困るだろう」

・・・などと、屁理屈をこね、事実を捻じ曲げ、「史上最大の薬害事件」に加担していくのだ。

それを本心では気づいていながら、保身・利権・同調圧力・上からの指示などで見て見ぬふりをする人々・・・。

これは、かつての戦争の時と同じ空気ではないのか？

●参照記事：[「American Medical Association releases guide instructing doctors to lie to the public to manipulate them into getting the Covid-19 Vaccine」](#)（2021年9月24日）

●参照記事：[「米国医師会は、医師が嘘をついて Covid-19 を接種するように誘導するためのガイドを発表」](#)

——AMAは、1847年に設立された米国最大の医師・医学生の職能団体であり、ロビー活動を行っています。AMA自身によると、その使命は、医学の芸術と科学を促進し、公衆衛生を向上させることです。

この「[COVID-19 メッセージングガイド](#)」は、新型コロナや治療法、新型コロナワクチンについての厳しい質問を受けた際に、医師が患者やメディアをどのように欺くかを明確に教えているものですが、これをどう説明するのでしょうか——。

●参照記事：[「日本のワクチン死者は報告数の23～38倍、累計1.7～2.9万人 人口動態統計の分析より」](#)

●参照記事：[「報告は氷山の一角！コロナワクチン接種後の副反応、死亡のツイートが多すぎて戦慄！」](#)

●参照記事：[「新型コロナワクチンによる死亡・重篤副作用の数々」](#)

●参照記事：[「新型コロナワクチン情報の厳選まとめ」](#)

P407～

●記事引用元：[「接種世界一なのに感染拡大のチリ ワクチンが遠因？」 2021年3月20日](#)

●参照記事：[「マサチューセッツ州プロビンスタウンでの新型コロナデルタ変異体の大発生におけるワクチン2回接種者からの感染の証拠 2021年7月」](#)

●参照記事：[「Outbreak of SARS-CoV-2 Infections, Including COVID-19 Vaccine Breakthrough Infections, Associated with Large Public Gatherings — Barnstable County, Massachusetts, July 2021」](#)

●参照記事：[「完全にワクチン接種された医療従事者は251倍のウイルス量を運び、ワクチン接種を受けていない患者・同僚に脅威を与える」](#)

実際、

「新型コロナワクチンを接種した人からは、人体に悪影響を与える何かが排出されている可能性がある」と、いう[指摘](#)も出てきている。

●記事引用元：[「新型コロナワクチン情報の厳選まとめ」](#)

●ブライアン・アーデイス医師の指摘 ([参照動画](#))

——ファイザーの治験に関わる146ページあるその文書は、誰でもダウンロードできますが、ファイザーの定義によると、この治験中、誰でも注射を受けた人が、ある部屋に入り、その部屋に妊婦がいるとすると、その妊婦が接種者（ファイザーの注射の治験参加者）が吐く息を吸った場合、呼吸、あるいは皮膚接触による暴露があった場合、ファイザー安全委員会に報告する必要があるとしています。

重大な有害事象であるとして。

さらに文書には、治験を受けた人が注射を打つ側の人（治験のスポンサー）に、このような事象があったと報

告した場合、妊婦が治験者に呼吸や皮膚接触により暴露された場合、スポンサーはこれについて報告しなくてはなりません。

そしてスポンサーは、ファイザーの安全委員会から、治験に関わっていないその妊婦を6ヶ月追跡するよう指示されるのです。

その妊婦が流産するかどうか、先天性障害があるかなど、何か重大な問題が起こるかを知りたいのです。

スポンサーに妊娠期間中観察させ、ファイザーに報告させたいのです。

ファイザーが、治験参加者の周りにいると、おなかの赤ちゃんに危険だと言うのなら、私たちに安全と言えますか？

妊婦は治験に参加できないのですよ。妊婦は、治験対象者から除外されているのです——。

●崎谷博征医師の指摘（参考資料）

「新型コロナ遺伝子ワクチン接種者の近くにいることで、女性であれば、月経異常、月経過多、流産、更年期後の月経出血、無月経などが引き起こされている例が出ている。これは新型コロナ遺伝子ワクチン接種者から放出された何かに感染した可能性がある」

「新型コロナ遺伝子ワクチン接種後にも月経異常が出ることは、ニューヨークタイムズ誌の「Opinion」欄に記事となって出ている」

「遺伝子を含む得体の知れない（ワクチンの全成分は公開されていない）ナノ粒子の液体を注射する訳ですから、当然デトックスするためにエクソソームを放出します。また、この遺伝子ワクチンのデザイン通りに体に反応が起きた場合でも、新型コロナのスパイクタンパク質は強い炎症性物質（毒物）なので、これを排出しようとするのは当然です。この強い炎症を引き起こすスパイクタンパク質や遺伝子がエクソソームから放出されれば、それを吸い込んで処理できない女性に月経異常が出て不思議ではありません」

「ファイザーの新型コロナ遺伝子ワクチンを接種していない女性が、接種している女性の皮膚に直接接触する、あるいは近くで空気を吸うと、その女性が妊娠している場合には、流産する・早産する・赤ちゃんに母乳を与えることで赤ちゃんにダメージを及ぼす・生まれた赤ちゃんに脳のダメージが起こる。さらに、ファイザーの新型コロナ遺伝子ワクチンを接種していない男性が、接種している女性の皮膚に直接接触する、あるいは近くで空気を吸うと、その男性に感染する。そして、その男性が妻と性交渉を持つと、その妻が感染するので、子供をもうけないようにすべきである・・・要約すると、ファイザーの遺伝子ワクチンの接種者には近づかないようにという内容が、[ファイザーの臨床試験のプロトコール](#)に記載（67～68ページ目）されています」

「製薬会社や研究者の一部は、ワクチン接種者からエクソソーム（遺伝子・スパイクタンパク質など）が放出されることを知っていなければ、このような記載はあるはずがありません」

●参考資料：[「C4591001 Clinical Protocol Nov2020 Pfizer BioNTech.pdf」](#)

●参考資料：『ICH 見解「ウイルスとベクターの排出に関する基本的な考え方」について 各都道府県衛生主管部（局）薬務主管課 御中 厚生労働省医薬食品局審査管理課 厚生労働省医薬食品局 医療機器・再生医療等製品担当参事官室 事務連絡 平成27年6月23日』

<http://www.nihs.go.jp/mtgt/section-1/ich/20150623-ICH-kenkai-virus.pdf>

——日米EU医薬品規制調和国際会議（以下「ICH」という）が組織され、品質、安全性及び有効性の各分野で、ハーモナイゼーションの促進を図るための活動が行われているところです。

近年の**遺伝子治療**に関する研究開発の発展等を踏まえ、ICHの遺伝子治療専門家会議（GTDG）においてICH見解としてとりまとめられた「**ウイルスとベクターの排出に関する基本的な考え方**」について、別添のとおり事務連絡しますので、今後の業務の参考とするよう、貴管下関係業者に対し御周知願います。

本ICH見解文書において、**排出（shedding）**とはウイルスとベクターが患者の**分泌物や排泄物を介して拡散すること**と定義する——。

——場合によって、**排出が観察される**ときは、**第三者への伝播の可能性を調査すべき**である。このような調査には、**ウイルスとベクターの被投与者と濃厚に接触した人々（家族や医療従事者など）への伝播の有無を評価**することが含まれる。このような**第三者（濃厚接触者）の免疫状態も考慮**すべきである。大部分の人々がそのウイルスとベクターに対する免疫を既に獲得している場合、大部分の人々では既存の免疫によりウイルスは効果的にクリアランスされるはずである。しかし、**接触した第三者の免疫状態が低下している可能性がある場合（例えば、高齢者や乳幼児では）、クリアランス機構が有効に働かない可能性がある**。従って、このような人々では**感染の結果はより重大になる可能性がある**。患者及びその家族に対して、**第三者への暴露を最小限にするための方法を指導**することが適切であろう——。

内海聡医師も [SNS](#) で、

「最近、新型コロナワクチン反対の人たちが**風邪？のようなもの**にかかるのが増えている。普通の風邪と違い長引く熱と、少し非典型的の症状が多いようだ。新型コロナにかかったと思っている人が多いようだが、もしかしたら新型コロナではなく、**スプレッダー（広げる人）の影響**によるものじゃないかと妄想している。その人が数年来風邪引いてないなら特に」

「ワクチンを打つから病気が広がり、ワクチンを打つから状況は終息しない。ワクチンは**感染だけでなく新型コロナが蔓延**しているという錯覚を広げる。この2・3ヶ月で変な発熱、喘息などの肺症状、間質性肺炎、血管炎、**血栓系の疾患**になっている人は、**ワクチンの影響**である可能性が高い。それはワクチンを打った人はもちろんだが、**ワクチンを打っていなくてもかかる**。スプレッダーによる**影響**だからだ。これらはこの数年病気知らず、風邪知らずであった人ほど顕著になる。科学的な根拠はまだ薄い。誰もそんな統計も研究もやっていないからだ」

「**ワクチンには効果はない**。現実みればはっきりしている。ワクチンを打つのは人のためではなく、**人に病気をうつすことの手助け**をしている」

と、述べられている。

内海聡医師も [SNS](#) 上で、

「**PCR検査をしなくなり、テレビを消し、マスクをしなくなれば新型コロナ騒ぎは終息**する。海外でも証明されてる話。検査センターをやめるだけで大半はいなくなる。本当は新型コロナを減らしたくないのだ」

「**新型コロナワクチンを打った人がPCR陽性スプレッダー（広げる人）になります**。こんなことは基礎を理解していれば当然です」

と、いう旨の見解を示されている。

●引用記事元：[「やはりワクチン接種者がデルタ変異型のスーパー・スプレッダー 2021年8月25日」](#)

——ベトナムは発展途上国の分類で、ファイザーやモデルナではなく、アストラゼネカーオックスフォード製のDNAワクチンが配布されています。

そのベトナムでの人体実験の結果をオックスフォードが解析した結果が話題となっています。

このアストラゼネカーオックスフォード製のワクチン接種者は、未接種者と比較して251倍の新型コロナウイルス変異型ウイルス量を鼻腔に保持していることが明らかにされたのです。(参照論文)

つまり、現代医学の仮説(病原体仮説)に従うと、ワクチン接種者こそが感染の「スーパー・スプレッダー」になっているということです。

イスラエルの2021年8月15日のデータでは、新型コロナ関連入院の6割は、ファイザーのフルワクチン接種者です——。

●参照動画「[【衝撃】ワクチン接種後に他人に感染させる可能性が巨大であるとオックスフォード大学が発表！](#)」

シェディングについてはさらなる検証が必要だが、それでも非接種者がシェディングによる健康被害を受けるリスクは、新型コロナワクチン接種によって受けるリスクよりはるかにマシであろうと、現状私は考えている。たとえ、シェディングによってしつこい風邪の様な健康被害などを受けたとしても、それはあくまで一時的な被害であるのが基本だ。

つまり、有害なものを体がどうにか処理しようと発熱で燃やしたり、咳や下痢で排泄しようとしている反応だからだ。

シェディングは、通常のウイルス感染とは性質が異なるものと考えられ、例えるならば、

「有毒化学物質などの公害によるアレルギー反応、拒否反応、排泄反応」

のような概念が近いイメージになるかと思われる。

ただ、これまで自然界に存在しなかった全く新しいタイプの毒性物質(スパイクタンパク、酸化グラフェンなど)であるため、体も緊急的に排除すべく下痢や湿疹などのイレギュラーな反応として対処するわけで、「体が元気な方の場合、毒を排除するまで排泄反応を激しく行ってしまう」というケースもあるようだ。(その場合、解毒・排毒が長引くとしんどい状況も長引く事もある様子。)

●参照動画：[「シェディングは体力のある人ほど起きやすい可能性がある」](#)

一方、新型コロナワクチン接種者は、ウイルスの遺伝子情報(その他の有害物質も含め)を体内に注入され、体内でウイルスのスパイクタンパク質を産生させるというもの。

すでに述べたが、その毒性は注射をした部分のみならず、臓器を含め全身へと巡ってしまう。血栓で脳出血や心筋梗塞を起こしたり、ギラン・バレー症候群やベル麻痺などの神経症状を起こしたり、流産を引き起こしたり、子宮内膜ガンが生じたり・・・と、多大なるリスクを背負うことになる。

何より、免疫は抑制され(免疫系が狂わされ)、ADEのリスクも生じる。複数回接種すればそのリスクはさらに増す。

接種した多くの人が数年後に亡くなる可能性を指摘する専門家もいる。打った後にリスクをチャラにすることはできず、永続的な害を被るのがコロナワクチン接種だ。

時限爆弾をわざわざ体内に入れるようなもので、接種者のリスクは、非接種者のシェディング被害とは比較にならないほど危険であると言えよう。

P437～

製薬メーカーが情報公開している副作用については、[『日経メディカル処方薬事典』](#)というサイトで誰でもネット検索可能だ。

●[厚生労働省ホームページ「ファイザー社の新型コロナワクチンについて」](#)

●参照動画 [「新型コロナウイルスメッセンジャーRNAワクチンについて」](#)

フランスのカーン大学研究チームが、遺伝子組み換えトウモロコシを二年間マウスに与える実験を行ったところ、ゴルフボール大の腫瘍（[画像参照](#)）がいくつもできた。

●参考文献：[『逆転写された SARS-CoV-2 RNA はヒト培養細胞のゲノムに取り込まれ、患者由来組織に発現する』](#)

●参照動画 [「米国ではコロナワクチンを接種した人が毎日約30人死んでいる」](#)

米国の上院委員会における発言。

●参照記事：[「FDA、ファイザー製ワクチンを正式承認 アメリカで初めて」](#)

ただ、これにもどうやら裏があるようで、正式承認されたという情報は誤りだという指摘がある。

●「ファイザー社のmRNAワクチンは正式に承認されていません！FDAがバイデン政権の誤った発表に対して正式文書で否定しました 2021年8月23日」（[参照動画](#)）

—バイデン政権とメディアは我々をカモにしています。私は[FDAの正式文書](#)のコピーを持っています。ここにはファイザー社のmRNAワクチンをFDAは正式に承認したことはないと明記してあります。

つい先日、ファイザー社のワクチンがFDA（米食品医薬品局）に承認されたとのニュースが流れましたね。しかしそんなに早とちりしないでください。

FDAの公式文書にはそのようなことは書いてありませんでした。バイデン政権もペンタゴンもメディアも真実ではないことを伝えています—。

—左側は、FDAが今日の日付でファイザー社に送った正式文書のコピーです。

この文書にはFDAがファイザー社のmRNAワクチンを16才以上を対象に緊急使用として認めた理由が説明されています。

そしてFDAはこのワクチンを正式（恒久的に）に認めたのではなく緊急使用として継続することを認めたと

ということが明記されています。つまりFDAはこのワクチンをまだ正式に認めたのではないのです。つまりバイデンやペタゴンが言っていることとは違うということです。私がこれまで言っていた通りでした。

このワクチンは緊急使用として一定の条件下で使用できるということには変わりありません。このワクチンの使用範囲が限られているということです。

そして文書の最後に、FDAはこのワクチンを正式に承認してはいないとはっきり伝えています。この件に関しては何も変わっていないのです—。

—このように連邦政府（バイデン政権）は再び国民に嘘をつきました。オースティン国防長官も国民に嘘をついたのです。

我々はワクチンに反対の立場を明確に示す必要があります。従業員が職域接種で強制的にワクチンを接種させられるようなことがあれば、このワクチンはまだ緊急使用として認められているだけであり、誰にも強制接種はできないと企業側に伝えるべきです。

特に、医学的な問題がある場合、宗教上の理由、既にコロナの抗体を持っている人にワクチンを強制的に接種させることは許されません（誰に対しても強制接種させることはできませんけど）。これはまだ緊急使用の段階なのです。バイデンもバイデン政権もゴミ屑だらけです—。

●ブライアン・アーディス医師の証言「注射の中身は様々」([参照動画](#))

●ファイザー社のワクチンが1種類じゃない理由。元製薬会社で薬を作っていた方の暴露 ([参照記事](#))

●リチャード・フレミング博士「悪影響が人間に現れるまでに1年半かかる可能性がある」と警告。([参照記事](#))

●元ファイザー副社長マイケル・イエードン博士の証言 ([参照動画](#))

「私は、それ（ワクチン）により**多くの人が健康を害し、死ぬ可能性がある**と思います。真剣に言ってるんです」

「数か月後、1年後になって、死んだとしても、通常とは異なる病的現象だとして、追加のワクチンとの関連性はわからないでしょう」([参照記事](#))

●アメリカの病理医であるライアン・コール博士「アイルランドの家庭医が、40年間のキャリアでは見た事がないようなガンを、6週間の間にいくつも見てきた」([参照動画](#))

「通常では考えられない年齢で発生した不可解なガンで、実験室で見慣れているものと比較すると本当に太いガンで、本当に攻撃的なガンです」([参照記事](#))

●参照動画「[チャールズ・ホフ博士からの悲惨な警告 DIRE WARNING FROM DR. CHARLES HOFFE](#)」

●参照記事：[「mRNAワクチンは心不全によって『ほとんどの人を殺します』 Doctor: Heart Failure From mRNA Jabs “Will Kill Most People 2021年7月10日」](#)

●記事引用元：[「チャールズ・ホフ博士からの警告」](#)

—mRNAワクチンは、心不全によってほとんどの人を殺します。

「mRNAワクチンが、接種した人々の血液中の何千もの小さな毛細血管を塞いでいる」と、彼は言います。

スパイクタンパク質は、ワクチン接種された体内で大量生産されるように設計されており、凝固の原因であり、注射された人の60%以上に悪影響を及ぼしています。

カナダのブリティッシュコロンビア州リットンで医学を実践しているホフ博士は次のように説明しています。

「私たちは今、人の腕に注入されたワクチンの25パーセントだけが実際にあなたの腕に残っていることを知っています。残りの75%はリンパ系によって収集され、文字通り循環に供給されるため、mRNAのこれらの小さなパッケージがあります。ちなみに、モデルナの「ワクチン」の単回投与では文字通り40兆のmRNA分子があります。これらのパッケージは、細胞に吸収されるように設計されています。しかし、それらが吸収される唯一の場所はあなたの血管の周りであり、それらが吸収される場所は毛細血管網です。血流がすぐに遅くなり、遺伝子が放出される最も小さな血管です。その後、あなたの体は、これらのスパイクタンパク質を何兆も製造するようになります。各遺伝子は、非常に多くのスパイクタンパク質を生成することができます。次に、体はこれらが異物であることを認識するので、それに対する抗体を作り、新型コロナウイルスから保護されます。それがアイデアです」

しかし、ここで問題が発生します。

新型コロナウイルスでは、スパイクタンパク質がウイルスカプセルの一部になります。

言い換えれば、それはウイルスの周りの細胞壁の一部になります。しかし、それはウイルスではありません。それはあなたの細胞の中にあります。したがって、それは血管内皮細胞壁の一部になります。

これは、血管を裏打ちするこれらの細胞が、血液がスムーズに流れるように滑らかであると考えられているため、これらの小さなスパイク状のビットが突き出ていることを意味します。

ホフ博士は続けます。

「したがって、血小板が血管の周りを循環するため、血栓が形成されることは絶対に避けられません。血小板の目的は、損傷した血管を特定して出血を止めることです。したがって、血小板が毛細血管を通過すると、突然これらすべての新型コロナウイルスのスパイクに当たり、血栓が形成されてその血管が塞がれることは絶対に避けられません」

したがって、これらのスパイクタンパク質は予想通り血栓を引き起こす可能性があります。

それらはあなたの血管にあるので（mRNAが「ワクチン接種されている」場合）、それは保証されています。その後、バーディ博士は、これを証明する方法は、D-ダイマー血液検査と呼ばれる血液検査を行うことであると私に言いました。

「メディアが非常にまれであると私たちが聞いている血栓は、脳卒中を引き起こし、CTスキャンやMRIなどに現れる大きな血栓です。私が話している血栓は微視的で小さすぎるので、任意のスキャンで見つけます。それらはD-ダイマーテストを使用してのみ検出できます。」

ホフ博士は、mRNAの「ワクチン接種」患者に対してD-ダイマーテストを実施しており、患者の62%がこれらの顕微鏡的血栓を持っていることを心配して特定したと説明しています。

「これらの人々は、彼らがこれらの微細な血栓を持っていることすら知らない。これの最も憂慮すべき部分は、脳、脊髄、心臓、肺のような体の一部が再生できないことです。これらの組織が血栓によって損傷を受けると、永久的に損傷します。その結果、これらの患者は、以前よりもはるかに簡単に息を切らしてしまうことを意味する、Reduced Effort Tolerance (RET) と呼ばれるものを持っている」

と、ホフ医師は言います。肺の血管が詰まっているからです。

次に、これにより、心臓は、肺から血液を通過させようとするはるかに大きな抵抗に対抗するために、より一生懸命働く必要があります。

これは肺動脈高血圧症と呼ばれます。血液が効果的に通過できないため、肺の高血圧です。

この状態の人は通常、

「結論として、数年以内に心不全で亡くなります」

と、ホフ博士は嘆いた——。(参照動画)

・・・2021年3月初めまでの時点における、

「[ナショナル・ワクチン情報センター](#)」

のデータでは、ファイザーおよびモデルナの新型コロナ遺伝子ワクチンによって、死亡者は1095名（56%はファイザー、43%はモデルナ）に達し、副作用は19907件を数えるという。（現在はさらに更新中。）

この死亡例のうち21%は心臓関連死だったとされる。

医師の崎谷博征氏は、[SNS](#)で、

「アストラゼネカ製の遺伝子ワクチンは、アデノウイルスを使用しており、このアデノウイルスは心臓の心筋細胞に炎症を引き起こして、心筋炎や心筋症の原因になることが報告されている」

「遺伝子ワクチンに入っている遺伝子(mRNA)は、新型コロナウイルスのスパイクタンパク質を産生するもので、このタンパク質は血栓を引き起こすデザインになっている。したがって、心臓・脳血管系の後遺症や死亡例が出ているのはワクチンの設計通り」

と、いう見解を示されている。

ショーン・ブルックス博士は、2021年8月のオハイオ州教育委員会で次のように発言している。(参照動画)

mRNAワクチン開発者のロバート・マローン博士は、ワクチンによるADEを次のように語っている。(参照動画)

——抗体依存性感染増強(ADE)とは？

簡単に言うと、ワクチンを接種することでワクチンを接種しない場合よりも、ウイルスの感染力が強くなるということ。

感染していない時よりも高いレベルでウイルスが複製されることになる。

他のコロナウイルスワクチン開発プログラムでも、ほぼ同様のことが起きている。

これは、歴史上知られ、確実に人間に起こっている。

それは私の様なワクチン学者が、最初から抗体依存性感染増強のリスクであると警告してきた——。

内海聡医師は、[SNS](#)上で次のように述べている。

——ワクチンによって即座に大量の人が死ぬことはないだろう。

技術的には可能だが、そんな状況になればワクチン接種を嫌がる人が増え、予防接種の継続が困難になってしまう。

ワクチンの作用（註：毒作用）は、ある程度の割合の人に対しては即効であるが、大半の人にはしばらく時間をかけて効果（註：悪影響）が現れるであろう。

時間を置いて作用するため、原因がワクチンであることを突き止めにくくなるだろう。

我々にわかることは、ずっと昔に人々の健康のことなど全く関心のない人間によって計画された大量ワクチン接種が、実行に移されつつあるのを目の当たりにしているということだけだ。

確かなのは、人間の免疫システムをターゲットにしていることだ。

免疫システムさえ停止させてしまえば、すべては終わる。

免疫を破壊するエイズに感染したらどうなるのか、ご存知の通りである。

エイズで直接死ぬことはないが、通常は免疫システムが対処してくれている病気に対抗できなくなって死ぬのである。

アメリカの研究者であり作家であるパトリック・ジョーダン (Patrick Jordan) のような人々の優れた業績のおかげで、工作されたウィルスとワクチンによって、大量の数の人間を殺す計画が展開されていることが明らかになった。

ジョーダンによれば、人間の免疫システムを停止させるワクチンが長い期間をかけて完成されたという。

アメリカの軍隊は何度もモルモットとして使用されたそうである。

ジョーダンの調査によれば、「彼ら」は3段階ワクチンを開発したことが明らかになった。

第一段階の接種では、白血球（免疫システム）を不能にする。

第二段階で、ウィルスを注入する。

そして第三段階で、再び免疫システムのスイッチを入れる。

途中段階でウィルスは全身に拡散するが、病気になった感覚はない。

免疫システムが機能していないために病気を感じないのだ。

免疫システムのスイッチが再び入ったとき、免疫システムは混合ウィルスに対して総攻撃を開始し、身体を死に至らしめるという仕組みだ——。

●参照記事：[「BREAKING: AI-powered DoD Data Analysis Program Named “Project Salus” SHATTERS Official Vaccine Narrative, Shows A.D.E. Accelerating in the Fully Vaccinated with Each Passing Week!」](#)

●参照記事：[「AIを搭載した国防総省のデータ分析プログラム『Project Salus』がワクチンに関する公式見解を覆す！週を追うごとに完全にワクチンを接種した人のADEが加速していることが判明」](#)

●参照記事：[「A comparison of official Government reports suggest the Fully Vaccinated are developing Acquired Immunodeficiency Syndrome」](#)

●参照記事：[「公式の政府文書の比較は、完全にワクチン接種された人が免疫不全を発症していることを示唆しています Bombshell: Official Government Docs Comparison Suggests “Fully Vaccinated” Are Developing AIDS」](#) 2021年10月19日 (翻訳記事)

●参照動画 [「専門家『今シーズンは、インフルエンザ大流行の可能性』秋冬注意 2021年9月9日」](#)

●参照動画 [「子宮頸がんワクチン 国が接種の呼びかけ再開を判断へ 2021年8月31日会見」](#)

●参照動画 [「【内海聡】ADE 複数回ワクチンを打つのが危険な理由について質問してみた」](#)

P509～

例えば、[神奈川県医師会のホームページ](#)でも、

「メッセンジャーRNAを体の中に入れて怖いことはありませんか？」

と、いう問いに対し、次のように答えている。

「このワクチンは、遺伝子組み換え技術とは関係ありません。遺伝子に悪影響を与えない。というのがこうしたタイプのワクチンを作るうえでの大原則です。もともとヒトの細胞の中にはたくさんのmRNAがありますが、これらが私たちの遺伝子の中に入り込んで、悪さをすることはありません。私たちの体にはこれらのmRNAが遺伝情報がしまっている『核』の中には入ってこれないようにする仕組みがあります。ですからmRNAワクチンは、基本的にヒトの遺伝子（染色体・DNA）がある細胞の核の中に入り込むことはないのです。また、RNAをDNAに変換したり、そのDNAを組み込んだりするための酵素もないため、ヒトの遺伝子に変化を起こすことはありません」

●参照文献：[『逆転写された SARS-CoV-2 RNA はヒト培養細胞のゲノムに取り込まれ、患者由来組織に発現する』](#)

例えば、本間真二郎医師は、新型コロナワクチン接種が人の遺伝子に影響を与える可能性について、[SNS](#)上で次のように述べられている。

「遺伝子とは、それぞれの生物のもつタンパク質の設計図です。すべての生物の遺伝子（設計図）を記録している本体がDNAです。まず、DNAから必要なタンパク質の情報がRNAにコピーされます。この情報がコピーされたRNAは、他の部位に情報を伝えるという意味でメッセンジャーRNA（mRNA）と言われます。DNA

は細胞の核の内部にあり情報の貯蔵（設計図）、mRNAは核から細胞質に出て情報の伝達（作業の指示書）に使われていると考えるといいでしょう。そして細胞質で mRNA の指示書通りにそれぞれのタンパク質が作られることとなります。ウイルスは生物ではないとされていますが遺伝子を持っています。遺伝子の本体がDNAの場合（DNAウイルス）とRNAの場合（RNAウイルス）があります」

「ウイルス全体のごく一部ですが、レトロウイルスというウイルスの仲間は、通常とは逆にRNAからDNAを合成（RNA→DNA）し、さらにそのDNAを感染した生物の細胞がもつDNAの中に組み込みます」

「DNA→RNAを転写といい、転写酵素という酵素が行います」

「RNA→DNAを逆転写といい、逆転写酵素という酵素が行います」

「通常の生物やレトロウイルス以外のウイルスはRNAからDNAを作る必要がないため、これまでは逆転写酵素はレトロウイルスだけが持っていると考えられていたのですが、現在では同様のものが多くの生物でも見つかっています」

「ヒトでも、レトロトランスポゾンという名称で知られ、ヒトの全DNA（約30億塩基対＝文字のようなものと考えてください）の約40%の部分は、太古の昔に、この逆転写酵素の働きにより出来上がったものと推定されています」

「重要なのは、ヒトでも条件さえ整えば、RNA（mRNA）からDNAへの変換が起こり、さらに、それがヒトの遺伝子であるDNAに組み込まれることになることです。つまり、今回のワクチンのように外来の遺伝子（DNAであってもRNAであっても）をヒトの体内に投与すると、それが、いつでもヒトのDNAに組み込まれる可能性があることとなります」

「新型コロナウイルス感染時にウイルス遺伝子の一部がヒト遺伝子に組み込まれている」

「ヒトはレトロウイルスがもつ逆転写酵素を持ちません。コロナウイルスもレトロウイルスではありませんので逆転写酵素を持ちません。しかし、LINE1という人のDNA配列に逆転写活性があり、このLINE1は全員が持っています。つまり、逆転写酵素を持っていなくても、だれでもが組み込みを起こす可能性が高いことを示しています」

「重要なのは、ワクチンなどにより入って来た遺伝子も、同様にヒトの細胞に組み込まれる可能性があることとなります」

「組み込まれるのはウイルス遺伝子全部ではなく一部となります。ですから、この組み込みが新たなウイルスを産生し、ウイルスがどんどん増殖したり、他人に感染することはありません」

「この組み込みがその後、人にどのような影響を与えるのかは今後の課題である。これまで、人もコロナウイルスも逆転写酵素を持たないため、新型コロナワクチンに含まれている遺伝子がヒトに組み込まれる事は決してないと説明されつづけてきましたが、この根底が否定されたこととなります」

「またLINE1はこれまで、自分自身の遺伝子だけを特異的に逆転写で増幅すると説明されてきましたが、今回はウイルスの遺伝子（自分以外）を組み込んでいることが示されており、これもいままでの常識と異なります」

「このように、我々人類の持つ遺伝子についての知識はまったく不完全であり、専門家であってもわかっていない部分がたくさんあると思います。繰り返しますが、自然感染時に起こる事がワクチンで起こるかどうかは不明です。しかし、今回のワクチンは、最終的に全人類70億人以上への接種を目指しています。つまり、他のあらゆるワクチン以上に安全性が求められる必要があります。重大な懸念がある場合は、即刻中止すべきだと思いますし、最低でも、説明する事が誠実な対応ではないでしょうか。ましてや、わかっていないことを絶対にないなどと説明するべきではないでしょう」

さらに、本間医師は、「新型コロナ感染やワクチンで必ず起こると決定している事ではなく、起きた場合に想定される事」として、次のような見解を示されている。

- ・ 遺伝子組み込みによる影響はそれが起きた細胞により異なる
- ・ 自然感染ではACE 2陽性細胞に限定されるが、ワクチン接種では全身の細胞に影響が出る
- ・ ワクチン接種では脳細胞や生殖細胞に永続的、世代を超えた影響が出る可能性が高まる

その後、mRNAワクチンがヒトのDNAに影響を与える可能性を示す論文が出てきている。

●参考文献：[『Intracellular Reverse Transcription of Pfizer BioNTech COVID-19 mRNA Vaccine BNT162b2 In Vitro in Human Liver Cell Line \(ヒト肝細胞株における試験管内でのファイザーmRNA ワクチン BNT162b2 の細胞内逆転写\)』](#)

モデルナ社のチーフメディカルオフィサーであるタル・ザックス博士 (Dr.Tal Zaks) は、2017年のTEDトークで、同社のmRNAワクチンがどのように機能すべく設計されているかについて、次のように説明している。

「私たちはこの驚異的なデジタル・科学革命を生きてきました。今日ここにいるのは、**私たちが実際に生命のソフトウェアをハッキングしている**ことを伝えるため。病気の予防と治療についての考え方を変えます」

「すべての細胞には、メッセンジャーRNAまたは略してmRNAと呼ばれるものがあります。これは、遺伝子のDNAからタンパク質に重要な情報を伝達します。私たち全員がこれから作られているものです。これは、細胞が何をするかを決定する重要な情報なので、私たちはそれをオペレーティングシステムのように考えています。それを変更できれば、**遺伝子コード行を導入したり、コード行を変更したりできれば、インフルエンザから癌に至るまで、すべてに深刻な影響を与えることがわかります**」

「患者にウイルスのタンパク質を与える代わりに、タンパク質の作り方、体が独自のワクチンを作る方法についての指示を彼らに与えたと想像してみてください (=mRNAワクチン)」

「情報が細胞内でどのように伝達されるかを理解し、医学と薬物の作り方を理解し、その2つを融合させています。私たちはそれを情報療法 (information therapy) と考えています」

●参照動画 [「Moderna boss: mRNA jabs are "rewriting the Genetic Code" we call it "information therapy" \(Ted 2017\)」](#)

・・・要するに、「生命のソフトウェアである遺伝子領域にハッキングし、遺伝子コードに変更を加える技術を用いたのがmRNAワクチンである」と、モデルナの責任者が言っているのだ。

また、mRNAワクチン開発・普及の中心人物であるビル・ゲイツも、「人の遺伝子に影響を与える」意図をもって開発されたのがmRNAワクチンであると[動画](#)内で語っている。

「最終的にできた、新しく有望なワクチンは、メッセンジャーRNAワクチンと呼ばれるものです。従来のワクチンとは違って、これはDNAの遺伝子を入れ替えて、新しいDNAを作るものです」

P530～

河野太郎氏（前ワクチン担当相）は、[自身のサイト](#)上で8つほどの「ワクチンデマ」主張（政府のスタンスに反してワクチンの有害無益さを指摘する声をデマ扱い）を行っている。

だが、その全てに対し科学的根拠を以て反論することができる。

本書の内容をご覧いただければ、賢明な読者にはそれが分かるだろう。（[参照記事](#)）

ここでは、河野氏の主張について簡潔に触れておく。

【①医師免許を持っているにもかかわらず、デマを流す人がいる】

公の流れに従わず、見識を持って新型コロナワクチンの有害無益さを主張すると、デマだと言われるこのご時世。

2021年6月24日、450人の国内医師や議員が「新型コロナワクチン中止の嘆願書」を厚労省に提出するも、主要メディアで取り上げられることはなかった。

この記者会見で、ウィスコンシン医科大学名誉教授の高橋徳先生らは、厚労省のデータを用いて新型コロナワクチン接種の有害無益さを論理的に説明。（詳細は前述。）

会見で、記者から、

「医者なのにデマを言う者がいると河野大臣が言っていたが、どう思われるか」

と、いう質問を受け、高橋徳先生は、

「厚労省のデータを用いて有害無益さを説明した。情報の出どころは厚労省です」

と、回答。（[記者会見動画](#)）

デマもなにも、厚労省のデータを使って現状をきちんと精査すれば、有害無益であるという事が浮き彫りになる。

それだけの話。デマでもなんでもない。

見識を持って現状を判断し、おかしいものはおかしい、有害無益だと言っているに過ぎない。

むしろ、そうした主張に蓋をし、きちんと討論せよとせよとせず、市民に知られぬよう情報を流さないメディアや国の姿勢こそ「デマを流す人たち」であろう。

●動画 [「国内の医師ら450人が新型コロナワクチン接種中止の嘆願書を厚労省に提出」](#)

●動画 [「新型コロナワクチン特例承認取消等請求事件 訴訟 記者会見」](#)

●動画 [「新型コロナワクチンに警鐘を鳴らす医師と議員の会 9月18日記者会見」](#)

【②動物実験について】

河野氏は、ファイザーの実験に猫は使われていないとか、ネズミの寿命がどうか屁理屈をこねているが、問題の本質はそこではない。

「新型コロナワクチンの動物実験は中止された」という事実がある点が重要。

以下は、テキサス州の上院委員会における医師の証言。（[参照動画](#)）

「動物実験を省略した一般向けのワクチンを他に見たことがありますか？」

「今までに一度もありません。特に子供たち用のワクチンでは」

「私が読んだ内容によると、**実際に動物実験を始めたところ、動物が死に始めたので実験を中止した**ということなのですが」

「皆さん、我々が重要なこととして理解しておきたいのは、我々が話している内容は、**米国人が実験台のモット**になっているということなんです。今行われているのはテストプログラムなんです。人体でのテストは行われなかったんです」

「**彼らは動物が死に始めたから動物実験を止めた。そして彼らはそのようなものを一般の人間に使おうとしている。このような実験的なワクチンを雇用の条件として人々に接種することを義務付けようとする企業がありますよね。死者数が増加し続けているにも関わらず。それについては完全に無視されている**」

・・・河野氏は、ネズミやネコがどうこうと言っていたが、そこは重要ポイントではないし、そんな論点ズラしはどうでもよい。

こんな動物が死にまくるワクチンを、その事実を隠し、国を挙げて国民に打たそうとしている事が大問題。

●参照動画「[アリム博士『mRNAワクチン技術をテストしたとき、ヒト化マウスが2ヶ月後には100%のマウスが死亡。マウスの2ヶ月の寿命は人間の2年の寿命になる』](#)」

「mRNAワクチン技術をテストしたとき、最初にヒト化マウスを使ってテストした。そして、**2ヶ月後には100%のマウスが死んでしまった**のです。同じ実験をサルに行い、mRNA技術を注射しました。同じ結果になりました。**100%の死亡率で、検死の結果、mRNAは全身の臓器から発見されました**」

「彼らは、mRNA技術が100%の致死率であることを証明するために実験を行ったのです。マウスの寿命を人間の寿命に換算すると、**マウスの2ヶ月は人間の2年に相当**します。つまり、ジュディ・ミコビッツ博士や、ノーベル賞受賞のリュック・モンタニエ博士によれば、2ヶ月で100%のマウスが死亡した場合、**ワクチンを接種した人は2年で死んでしまう**のです」

【③ワクチンで不妊や流産は起きない】

【④卵巣にワクチンの成分は蓄積しない】

ちなみに、政府やメディアは、

「**新型コロナワクチン接種によって不妊になるというのは全くのデタラメ**だ」

と、反論しているようだが、**ファイザー社の公式ページには不妊のリスクについて以下のように記載されている。**([参考資料](#))

「Pfizer-BioNTech COVID 19 ワクチンは不妊症の原因になりますか？」

「COVID19 ワクチンは、SARS CoV 2 のスパイクタンパクと胎盤タンパクに共通のアミノ酸配列があるため、**不妊症を引き起こすことが示唆されています**」

少なくとも、ファイザーは不妊の可能性について念頭に置いているといえよう。メカニズム的にもそれだけのリスクをはらんでいるからだ。

その後の文面では、

「SARS CoV 2 のスパイクタンパク質は胎盤タンパク質とアミノ酸配列を共有していますが、この2つのタンパク質は免疫学的に異なる別のタンパク質です。妊娠前および妊娠中に Pfizer BioNTech COVID 19 Vaccine を投与した動物実験では、**雌の生殖能力、胎児の発育、出生後の発育に対するワクチン関連の悪影響は報告されていません**」

と、書かれてはいるが、元ファイザー副社長マイケル・イエードン博士は、欧州医薬品庁に、「新型コロナワクチン研究の即時停止を求める緊急申請」を提出し、

「このワクチンはスパイクタンパクへの抗体をうみだす。しかし、スパイクタンパクにはシンシチンというたんぱく質が含まれ、これは胎盤形成に不可欠だ。コロナワクチンはこのシンシチンに対する免疫反応（攻撃）を引き起こす恐れがある」

と、ワクチン接種後の不妊リスクを警告している。

加えて、注目されているのが、**卵巣への悪影響**だ。

ファイザー社の内部資料によると、新型コロナワクチンの有毒性を示す次のような研究が出てきている。

- 参考資料：[「PFIZER CONFIDENTIAL」](#)
- 記事引用元：[「コロナワクチンは卵巣に蓄積する」](#)

—筋注したmRNAワクチンが体内のどこに運ばれ、どのように代謝されるのか。以下のような研究を行い、ワクチン成分の体内動態を調べた。

ルシフェラーゼ（オワンクラゲから抽出した発光酵素）で標的したRNAを脂質ナノ粒子で包み、これをネズミに筋注する。

ワクチンの成分、どこに最も蓄積したと思いますか？

接種部位、脾臓、肝臓に多いことは想定内。体内に入り込んだ脂質ナノ粒子を白血球が貪食し、それが脾臓や肝臓にたまって、高濃度に蓄積したものと考えられる。

しかし意外なのは、**卵巣**である。**卵巣に高濃度のmRNA**が見られた。

脂質ナノ粒子抱合mRNAは、卵巣に高濃度に蓄積します—。

—コロナワクチンに含まれるmRNAは接種者のDNAに取り込まれ、遺伝子を改変する。

「遺伝子を改変する」

と、漠然といっても、具体的にどこの遺伝子に影響を与えるのか、よく分からなかった。しかし上記の実験を踏まえれば、ある予想が立つ。

卵巣を構成する細胞のDNAに取り込まれ、**次世代に悪影響を与えるのではないか。**

つまり、**不妊になる可能性が懸念される—。**

●参考文献：[『逆転写された SARS-CoV-2 RNA はヒト培養細胞のゲノムに取り込まれ、患者由来組織に発現する』](#)

●参考文献：[『Intracellular Reverse Transcription of Pfizer BioNTech COVID-19 mRNA Vaccine BNT162b2 In Vitro in Human Liver Cell Line \(ヒト肝細胞株における試験管内でのファイザーmRNA ワクチン BNT162b2 の細胞内逆転写\)』](#)

・・・こうした有害性を指摘する声が上がっているにも関わらず、河野氏は、新型コロナワクチンの有害無益さを主張する声に対し「デマである」と否定。

自身のサイト上でも、遺伝子ワクチンによる卵巣への悪影響を否定している。

彼はファイザー資料の%数字をとりあげ、

「肝臓で最も高く18%となり、脾臓では1.0%以下、副腎では0.11%以下、卵巣では0.095%以下と、肝臓と比較して著しく低くなり、ピークも48時間でした。単にごく微量が卵巣に一時的に分布したということであり、蓄積というのは明らかな誤りです」

と、さも「肝臓と比べて卵巣への影響は少ない」という風な主張を行っているが、そもそも**小さな卵巣と大きな肝臓の%数字比較では、悪影響の実質を把握できない**。(例えば、大きな動物と小さな動物では、毒から受ける影響力が異なるのと同じ。大きな動物であれば大丈夫な微量毒であっても、小さな動物ではかなりのダメージになる。)

大きいだけでなく解毒を行う臓器でもある肝臓と比して、**卵巣は非常に小さくデリケートな器官**である。

つまり、元々、肝臓は毒素への耐性や許容量を比較的大きく備えているかもしれないが、小さく繊細な卵巣は決してそうではない。

その微量な毒が小さくデリケートな臓器にとってどれほどの濃度であるか、どれほどの悪影響を与えるかという点が重要であろう。

しかも、ファイザーが公表した実験データは、あくまで全体の一部でしかない。

大阪市立大学名誉教授の井上正康先生が、

「ファイザー社は、スパイクタンパクの蓄積実験のデータを300時間までは最低限持っているはず。外部の人はそれを見ることはできない。公表はあくまで48時間まで。唯一見れる厚労省のデータでは、2023年5月にならないと安全性が分からない臨床試験中のワクチンであると。今ワクチン受けてる人は全員ボランティアで、死んでも文句を言いませんという状況にある。しかし、このピーク、登山で言うと48時間は1合目か2合目であり、もっと先に行くと卵巣には蓄積するというのが医学的な基本のデータの読み方。ワクチンで蓄積しないと言うのは、担当相がついたデマである」

と、指摘されているように、300時間のうち48時間分だけの数字しか公表されていない。(都合の悪いデータを隠している可能性がある。)

●参照動画 [「ファイザー社は、スパイクタンパクの蓄積実験300時間のデータを持っていて、48時間迄しか公表していない。48時間だけで卵巣に0.1%も蓄積」](#)

卵巣などの生殖器系に悪影響を与えてしまう可能性がある以上、当然のことながら、不妊のリスクも否定できないはずだ。

まあ、弱毒型の新型コロナ騒ぎに対してワクチンやクスリを議論すること自体が無意味なのだが、仮に科学的な立場で考えても、本来なら慎重に検証を重ね、安全性を確認したうえで使用すべきはずが、今や臨床期間中の有害ワクチンを国民に普及しまくっている。(この在り方のどこが科学的なのだ?)

厚生労働省は、

「妊娠中・授乳中・妊娠計画中の方でも新型コロナワクチン接種を受けることができる」

「mRNAワクチンが妊娠・胎児・母乳・生殖器に悪影響を及ぼすという報告はありません」

と、安全性を強調し、国民にワクチン接種を勧めようとしているが、すでにワクチンの悪影響を受けた胎児や乳児の死亡事例が海外で次々と生じている事は前述してきた。

・・・河野氏は、2021年6月24日付の自身の[サイト](#)上にて、
「アメリカで行われた3958人の妊婦を対象とした研究で、**流産や早産、先天奇形**が起こりやすいということがないことも確認されています」
と、安全性を主張しているが、**すでに多くの重篤な被害が実際に起こっているのだ。**(本当、どっちがデマだと言いたい。)

米国VAERS(ワクチン有害事象データベース)によると、2021年5月28日時点で、29万4801件の新型コロナワクチン副作用報告が上がっている。

主な重篤症状は、

- ・死亡 5165
- ・アナフィラキシー 1342
- ・ベル麻痺 1565
- ・命の危険 5317
- ・心臓麻痺 1892
- ・心筋炎・心膜炎 756
- ・血小板減少症 1392
- ・流産 571
- ・重度アレルギー反応 13574
- ・身体障害 3994

など、桁外れの数字である。

河野氏が6月24日に否定した新型コロナワクチン接種後の「流産」事例は、5月末の時点ですでに571件もアメリカで報告されているのだが・・・。(10月15日時点で、流産は2631件に。)

繰り返すが、これらの数字ですらも氷山の一角にすぎない。

アメリカのワクチン副作用レポート・システム(VAERS)によると、「有害事象は1%未満しか報告されない」という調査報告があり、**実数は報告数の100倍以上**と考えられている。

さらに、**新型コロナワクチンによる生殖器系への悪影響**として、**子宮内膜ガンの増加**を指摘する声が上がっている。

アメリカの病理医であるライアン・コール博士が、

「1月1日以降、研究室では、**子宮内膜ガンが年間ベースで20倍に増加**しています」
と、証言しているのだ。

●参照記事：[「アイダホ州の医師は、ワクチン接種を受けた患者のガンの20倍の増加を報告しています 2021年9月13日」](#)

——新型コロナワクチン接種の展開以来、医師はガンの増加を発見した。

3月18日、理事会認定の病理医であり、診断ラボの所有者・運営者であるライアン・コール博士は、アイダホ

州政府の「Capitol Clarity（国会議事堂の明晰さ）」プロジェクトによって作成されたビデオで、

「ワクチン接種を受けた患者が、様々な自己免疫疾患やガンにおいて、大規模な上昇が見られている」と、報告した。

「1月1日以降、研究室では、子宮内膜ガンが年間ベースで20倍に増加しています」

「毎年の数を正確に見ていますので、数としてはまったく誇張していません。実際、これほど多くの子宮内膜ガンを見たことはないです」

と、ツイッターで共有された動画で博士は報告。

コール博士は、3月18日の説明で、

「ワクチンが深刻な自己免疫の問題を引き起こしているようだ」

と、アイダホ州民に語った。

コール博士は、適切な免疫系機能には2種類の細胞が必要であると説明した。

「CD4細胞」とも呼ばれる「ヘルパーT細胞」と、「CD8細胞」として知られる「キラーT細胞」だ。博士によれば、HIVの患者では、免疫系の機能を急落させ、患者をさまざまな病気にかかりやすくする「ヘルパーT細胞」の大きな抑制があるという。

これと同様に、コール博士は、

「ワクチン接種後、私たちが見ているのは、キラーT細胞、CD8細胞の低下です」

と、説明している。

「CD8細胞は他のすべてのウイルスを抑制するものです」

と、彼は続けた。HIVがCD4「ヘルパー」細胞を抑制することによって免疫系の破壊を引き起こすのと同じように、CD8「キラー」細胞が抑制された場合にも同じことが起こる。

コール博士はさらに、このワクチンによって誘発された「キラーT細胞」抑制の結果として、子宮内膜ガンだけでなく、メラノーマ、ヘルペス、帯状疱疹、および、女性の子宮頸ガンの数の「大幅な上昇」がある可能性に言及した――。

●参照記事：[「かつてない大虐殺『ワクチンを受けている者全員が 生来の免疫システムを破壊』ワクチン製作第一人者 ゲルト・ファンデン・ボッシュ博士の警告 コロナワクチン20」](#)

mRNAワクチンの開発者ロバート・マローン博士は、ワクチンによるADEを次のように語っている。[\(参照動画\)](#)

――抗体依存性感染増強（ADE）とは？

簡単に言うと、ワクチンを接種することでワクチンを接種しない場合よりも、ウイルスの感染力が強くなるということ。

感染していない時よりも高いレベルでウイルスが複製されることになる。

他のコロナウイルスワクチン開発プログラムでも、ほぼ同様のことが起きている。

これは、歴史上知られ、確実に人間に起こっている。

それは私の様なワクチン学者が、最初から抗体依存性感染増強のリスクであると警告してきた――。

●参照動画 [「医師団・刑法チームのトッド・カレンダー弁護士による、ワクチン接種を強制してくる人たちへの法的対処」](#)

ファイザーの公表データについて、中村篤史医師は、[SNS](#)で次のように語っている。

——2021年9月、ある科学者が政府に対して、情報公開法(Freedom of Information Act)に基づき、ファイザー社製ワクチンを認可する際に参照したデータを公開するよう訴訟を起こした。

これに対する政府の返答は驚くべきものだった。

「5年後、2076年に全記録を公開します」

無論、原告は反発した。

「遅くとも2022年3月にはすべての資料を公開すべきだ」

●参照記事：[「Wait what? FDA wants 55 years to process FOIA request over vaccine data」](#)

原告、被告、双方の激しい応酬の末、結果、原告の訴えが認められた。

裁判官：「FDA(米国食品医薬品局)がワクチンデータの公開を2076年まで引き延ばすことは不当である」

これにより、FDAは毎月55000ページのデータを2022年8月末まで順次公開することになった。

その第一弾のデータが、最近ついに公開された。

●参考資料：[「5.3.6 CUMULATIVE ANALYSIS OF POST-AUTHORIZATION ADVERSE EVENT REPORTS OF PF-07302048 \(BNT162B2\) RECEIVED THROUGH 28-FEB-2021 \(5.3.6 2021年2月28日までに受領した PF-07302048\(BNT162B2\)の承認後有害事象報告の累積分析\)」](#)

●参考記事：[「【日本語訳付き】ファイザー公開の1291種類のコロナワクチン有害事象リスト」](#)

これを見た人は、**起こり得る副作用の羅列**に圧倒されることだろう。(P30～P38)

このファイザーの資料を日本語訳にまとめて下さった方が、ネット上でPDFファイルをダウンロードできるようにしてくれているので、ぜひ一読して頂きたい。

●参考資料：[「ファイザー社が公開した新型コロナワクチンの有害事象の日本語訳対訳 PDFファイル」](#)

P579～

●参照記事：[「コロナワクチン、救済対象29人初認定 厚労省 2021年8月19日」](#)

—厚生労働省の専門分科会は19日、新型コロナウイルスワクチン接種による健康被害の救済を初めて認定した。審議した41人分のうち29人について認めた。今後、厚労相による正式決定を経て市町村が被害者に医療費や医療手当を支給する。

審議したのは予防接種健康被害救済制度に申請した18～83歳（接種時）の男女41人で、うち37人が女性。コロナワクチンを打った後に重いアレルギー反応の「アナフィラキシー」が起きた人など29人について救済を認めた。

亡くなったり障害を持ったりした事例は含まれないという。残りの12人は保留し、次回以降に引き続き審議する。

救済対象者には、請求内容に基づき医療費の自己負担分や通院頻度、入院期間などに応じた医療手当を払う—。

●参照記事：[「コロナワクチン健康被害で新たに81人の健康被害救済認定 2021年10月22日」](#)

—新型コロナのワクチン接種によって、重篤な副反応が起きた可能性が否定できないとして、厚生労働省は新たに81人への健康被害を認め、医療費などを支給することを決めました。

新型コロナのワクチン接種では、副反応が原因で障害が残る、あるいは治療が必要になった場合は救済制度の対象となり、医療費などが支給されます。

厚労省は22日、専門家による審査会を開き、ワクチンを接種した後に強いアレルギー反応＝アナフィラキシーなどを起こし、救済の認定を求めている20代から80代の男女あわせて81人について審査をしました。その結果、81人全員について救済の対象とすることを認め、今後、自治体を通じて医療費などを支給することを決めました。

コロナワクチンを接種した後に健康被害の救済が認められたのは、これまでにあわせて147人になりました—。

・・・だが、これまで認められたのは、ほんの一部であり、ワクチン後の死亡者に対しては一例も認められていない。

「因果関係不明」というフレーズは、ワクチンによる被害自体を無かったことにするためのものである。そして、「ワクチンとの関連性が証明できなければ、救済制度の認定はしない」つまり、救済処置としてのお金が給付されない事を意味する。

国は『予防接種健康被害救済制度』というものを掲げており、ワクチン接種による健康被害が出た場合、因果関係さえ認定されれば救済処置としてお金が給付されるとしている。

だが、この救済制度の認定が実にきな臭い。

●[厚生労働省ホームページ「健康被害救済制度とは」](#)

—予防接種の副反応による健康被害は、極めて稀ですが、不可避免的に生ずるものですので、接種に係る過失の有無にかかわらず、予防接種と健康被害との因果関係が認定された方を迅速に救済するものです。

予防接種法に基づく予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、市町村により給付が行われます。申請に必要な手続き等については、予防接種を受けられた市町村にご相談ください。（厚生労働大臣の認定にあたっては、第三者により構成される疾病・障害認定審査会により、因果関係に係る審査が行われます—。）

・・・ここから読み取れるのは、「**予防接種と健康被害との因果関係が認定されなければ救済をしない**」ということ。

因果関係の認定審査をする「第三者により構成される疾病・障害認定審査会」の構成要因も、おそらく何かしらの意向を汲んだ専門家と称する者たちで占められるのではないかと疑いたくもなる。

仮に認定されたとしても、命は帰ってこないし、健康状態も取り戻せないかもしれないのだ。

さらに、こうした**補償を負担するのはワクチンを売った製薬メーカーではなく、日本国**である。つまり救済制度で給付されるお金の実質は**国民の税金**なのだ。

●記事引用元：[「新型コロナワクチン接種後の副作用 損害を国が肩代わりへ 2020年8月22日」](#)

—新型コロナウイルスのワクチンを巡り、政府はワクチン接種後に副作用で健康被害が起きた場合、**企業が支払う損害賠償金を国が肩代わりする**仕組みを設ける方針を固めた。

国民が幅広く接種できるワクチンを早急に確保するため、海外の製薬会社が日本に供給しやすい環境を整えるのが狙い。政府は関連法案を次期国会に提出する方針。

新型コロナのワクチンは国内外で開発が進められているが、**実用化後に多くの人**が接種すれば、**健康被害を訴える人**が出る恐れがある。訴訟になった場合、**損害賠償金が巨額になる可能性**もあるため、**製薬会社からは国が肩代わりするよう求める声**が出ていたという。

こうした損失補償規定は現行法にないため、政府は予防接種法を改正して対応する方針—。

●アメリカの上院国務委員会での発言 (参照動画)

—今、アメリカで起きている問題は、数年前に製薬会社が政府にやって来て、

「我々がやっている副反応が多い問題を何とかしてくれないと、ワクチンの製造をやめてしまう」と、言ってきたことです。

そこで政府が介入し、免責事項を設けたのです。

現在、製薬会社はワクチンに関する完全な免責特権を持っています。

ワクチンによる副反応や死亡には責任を負いません。

ワクチンを接種しても、自己責任になってしまうのです。

それが私たちが直面している事です。

「人々を守るためにはワクチンが必要だ」

と、いう大胆で独善的な要求。

しかし、**副反応に対して誰が責任を負うのか誰も認識していません。**

メディアケアではこれまでも副反応が報告されています。

メディアケアの報告は非常に正確で、重大な反応や死亡者が出ていることを示しています。

ですから、誰かが「我々が責任を負う」と言うまでは、私たちがやっていることは、ワクチンを接種して副反応が出た場合、労働者が自分で対処しなければならないということを押し付けることです。

ですから、これが正しいことだと主張する人たちには、誰がその責任を負うのかという事を誰かが言いださなければならないのです。

議長、これがこの問題に欠けている主な点の1つです。

この医療行為を受けることを強いられている個人に、全てが押し付けられている事です。

完璧とは言い難い実験的な医療行為です。

十分に裏付けられています。完璧とは言い難い。

それで何千人もの人が死に、何千人もの人が病院に入院しています。

しかし、その責任を負うのは、雇用主でも、政府でも、販売メーカーでもありません。

この問題が解決されない限り、議長、家族を養わなければならない人が、自分でそのリスクを負わなければならないような義務化を、どんな形であれ認めることはできないと、私は思います。

そして、おそらく同意してくれることと思いますが、誰かがそのリスクを引き受けなければならないというのは、おそらく皆さんも考えたことのないことでしょう。

特に病院内でのビジネスは、人々にワクチンの接種を強要することに固執していますが、彼らは、

「ワクチンを接種してください、接種した後は私が責任を負います」

と、言うべきだと思います。

しかし、それを実行したところはまだ一つもありません――。

●参照記事：[「尾身会長の医療機構」CHOがコロナ患者をやっと受け入れ・・・補助金311億円収益増報道も」](#)

●参照記事：[「ワクチン会社から謝礼を受け取っていた番組コメンテータ医師の実名」](#)

以下は、新型コロナワクチン接種中止を訴える、池田としえ日野市議会議員による講演会での指摘。[\(参考資料\)](#)

池田議員は、

「2009年～2010年の新型インフルエンザ(H1N1)は、昨年の(新型コロナ)偽パンデミックとそっくりだった」

と述べ、カナダから輸入したワクチン1126億円分が1本も使われずに廃棄処分された経緯を紹介。

「世界各国で副作用への警戒が強まり、大量にワクチンが余っていた。接種を受けた死亡者数は自然感染による死亡者数の5.7倍に及ぶ。わが国の厚生労働省は年明けの終息を予測していたにもかかわらず、12月8日に輸入を決めた」

「同年12月22日には子宮頸がんワクチンの接種も始まる。グラクソ・スミスクラインのH1N1用ワクチン『アレパンリックス』のアジュバント(免疫増強剤)と、子宮頸がん用ワクチン『サーバリックス』のアジュバントは同じ型だった」

「今の(新型コロナ)騒ぎと同じく、子宮頸がんワクチンを大喧伝していた。でも、二十歳未満の死亡者は0人。今とそっくり。予防効果も確認されていない」

・・・最近、一部の政治家・著名人・学者などが子宮頸がんワクチンを推奨する発言を繰り返しているが、大変危険な傾向である。

ワクチンを受けることが子宮頸ガンを防ぐ唯一の方法だという嘘を信じ、今もなお、犠牲者候補が列をなしている現状だ。

特に、新型コロナワクチンを複数回接種した人は、免疫抑制が生じ、ADEのリスクが高くなっている事は、これまでも述べてきた。

そのような人は、インフルエンザワクチンや子宮頸がんワクチンなど他のワクチンをさらに接種すると、何の効果もない上にリスクは確実に増す。

インフルワクチンが従来のタイプであったとしても、接種をしてはならない。(近い将来、mRNAワクチンにしようとしているようだが、そうなれば尚更危険。)

●参照動画 [「【内海聡】ADE 複数回ワクチンを打つのが危険な理由について質問してみた」](#)

●参照動画 [「今年、ポリオのような感染症がなぜ発生するのか？ブライアン・アーディス医師」](#)

●参照記事：[「ニューヨーク州、ポリオで緊急事態 知事宣言、ワクチン促進へ（2022年9月10日）」](#)

P609～

内海聡医師は、新型コロナ騒ぎに踊らされる人々に、[SNS](#)上で警鐘を鳴らしている。

「スペイン風邪は感染症者数が増えて減ってを繰り返し、自粛とマスク隔離と薬物治療を繰り返し、現在と同じような問題を繰り返した結果多くの死者を出した。まあ、一番の死因はアスピリンであり、大半はアスピリンで死んだと思えばよい」

「長引かせれば長引かせるほど、自粛して隔離して医療すればするほど、だらだら死人が幾何級数的に増えることも理解していない。スペイン風邪は大きい流行に前流行と後流行の二つがあるとされてきたが、これは現在と同じ医療隔離政策や自粛政策をとって、目先の数字に一喜一憂し、長期間にわたっていじくりまわして、変異を助長したからにほかならず、免疫を軽視した人類の業のなれの果て」

「豚インフルエンザは1976年と2009年の二回にわたって、世界的に流行したと垂れ流されたがウソだった。その時も豚インフルエンザ怖い詐欺師は跳梁跋扈した。結論的に5000万人近くがワクチンを打ち大量に副反応が出て中止になったが、在庫処分のための豚インフルエンザワクチン処理のためのプロパガンダだったから当たり前だ」

「新型インフルエンザも流行る流行る詐欺だった。しかしインフルエンザという名前がダメだったのだ。インフルエンザが怖いという観念は一般人にも浸透していたので、比べてたいしたことないことがわかり誰も信じず収束してしまった。何千万人にもかかってとてつもない被害を及ぼすとプロパガンダされながら、引っかかるのは少数だった。だからコロナが選ばれたと言っている」

「元々世界経済が歪みの極致にあったので、それを責任転嫁するためにコロナ恐慌に誘導する。恐怖で人を縛れば簡単なことであり、これは陰謀云々以前に絶対必要なことである。そして食糧支配がはじまる。これらを誘発するためには弱毒型ウイルスでないとダメだったので、もちろん計算づくである。人類にとって最も怖いウイ

ルスとは、致死率が高いウイルスではなく、致死率が低いが高感染力があり、発症しない人や検査で偽陽性になる人が多く、また軽症の人が多くRNAウイルスであるという言説があったがまさにそれ。それを重篤に見せて恐怖をあおるために、様々な作戦は織り込み済みだった」

●参照記事：[「フランス『ワクチンパスポート』義務化へ『デルタ株』懸念 2021年7月13日」](#)

—フランスで変異ウイルス「デルタ株」への懸念から、飲食店に入る際にいわゆる「ワクチンパスポート」の提示を義務付ける規制強化策が打ち出されました。

フランスのマクロン大統領は12日、8月上旬からカフェやレストラン、飛行機などの利用に際し、ワクチン接種の完了や陰性証明の提示を義務化すると発表しました。

また、医療従事者や介護職員などに対し、9月15日までにワクチンを接種するよう命じました。従わない人は仕事を続けられなくなるとしています。

ワクチンの未接種者への圧力を強める背景には、感染力が強いデルタ株への懸念があります—。

●参照記事：[厚労省ホームページ「海外渡航用の新型コロナワクチン接種証明書について」](#)

—予防接種法に基づく新型コロナワクチン接種済みの方が、海外渡航の際、渡航先への入国時をはじめ、現地での飲食店・施設の利用時等や日本への入国後・帰国後の待機期間に関する新たな措置を受ける際にも活用できるよう、新型コロナワクチン接種の事実を公的に証明する接種証明書を交付します。

※令和3年9月27日より、「防疫措置の緩和等が認められる対象国に渡航する場合に限って申請」という要件が撤廃されました—。

さらに、民間主導のワクチンパスポートアプリまで登場する始末・・・。

●参照記事：[「民間初のワクチンパスポートアプリ『ワクパス』 2021年10月6日」](#)

いずれは、指の静脈で接種履歴の確認をするシステムや、かねてから準備されていた量子ドットタトゥー（皮膚に直接情報を記録させる）のような技術へと段階的に移行されていくだろう。

●参照動画：[「手ぶらで接種証明実験 指の静脈で本人確認 鹿島建設・日立製作所などが開発」](#)

●参照記事：[「目に見えないインクを使ったタトゥーで予防接種を受けた子供を識別（米研究）」](#)

●参照記事：[「Storing medical information below the skin's surface（皮膚の表面下に医療情報を保存する）」](#)

フランスのパリでは、飲食店にいる客たちがワクチン接種済みかどうかを確認して回る警察官の姿があった。
[\(参照動画\)](#)

●参照記事：[「フランス：非常事態権限による人権抑圧の恐れ 議会は新たな権限の濫用防止に動くべき 2015」](#)

[年11月24日](#)」

フランスの『緊急事態法』は憲法ではないが、第五共和国憲法よりも『緊急事態法』を用いて国家緊急権が行使されることが一般的で、パリ同時多発テロ事件の際も同法を根拠に緊急事態宣言が出されていた。(参考資料)

フランスは2020年3月24日に衛生緊急事態法を施行し、人の往来制限や国家の物資管理の権限を強化。外出禁止令に30日以内で4度違反すれば、最大3750ユーロ(約45万円)の罰金や禁錮刑を科した。

テロ・戦争・災害・パンデミックなど緊急事態時の権限が強いからこそ、「ロックダウン」政策も行うことができ、今回のワクチンパスポートゴリ押しにも繋がっている。

これは、アメリカが2001年の「9・11テロ事件」の直後に成立させた『米国愛国者法』、そして日本であれば自民党憲法改正草案の『緊急事態条項』の位置づけにほぼ該当する。

もしこの先、日本がワクチンパスポート義務化の泥沼方向へ向かうとすれば、「法の問題」が立ちはだかる。予防接種法、そして日本国憲法がある日本では、ワクチン強制をすることはできない。(あくまで努力義務)だからこそ、政治家たちは「憲法改正」を口にし、

「新型コロナ対応に必要だ」

と、いう名分で『緊急事態条項』を憲法に加えようとしているのだ。

●参照記事：[『緊急事態条項』の創設焦点 コロナ禍で自民意欲、野党は慎重 改憲論議が新局面 2021年6月12日](#)」

—改正国民投票法の成立を受け、下村博文政調会長は早速、記者団に「憲法に緊急事態条項がないことが(コロナ対応の)スピード感を鈍らせている」と問題提起—。

『緊急事態条項』を簡単に説明すると、紛争・テロ・災害・パンデミック(たとえ偽物でも)などで国がピンチに陥った際に、政府に権力を集中させ早期解決を目論むという建前の下、ワクチン強制なども押し付ける事ができるという悪法である。

●パリで警察が、ワクチンパスポートなしでモールに買い物に向かった女性を制圧(参照動画)

●ワクチンパスポートの導入に伴い、カナダの警察は誘拐の訓練を受け、人間性を失った。(参照動画)

ワクチンパスポートを提示しなかったという理由だけで母親が子供たちの目の前で逮捕され、子供たちが泣いている。

●ワクチンパスポートに反対するミラノでの大規模なデモ。(参照動画)

このような活動は、ローマ、ミラノを含むイタリアの多数の地域で行われている。

●イタリア全土でワクチンパスポートに反対して大規模なゼネストが行われ、交通機関が封鎖されている。(参照動画)

少なくとも100万人の労働者がストライキに参加し、10万人がデモに参加している。

- イタリアの各所でストライキが発生している。(参照動画)

港湾労働者

「今夜から真夜中までストライキをする。労働にワクチンパスポートが不要となるまで続くだろう！」

- ヨーロッパ中で毎週、何千人もの人々がワクチンパスポートに反対するデモを行っています。(参照動画)

しかし、これはメディアでは報道されません。

英国では、政府は広告費に3億2千万ポンドを費やしています。

メディアは自分たちを養ってくれる手を噛まないのです。

- 世界同時デモの日だったので、ニューヨークでも自由を求める数千人の民衆が抗議活動をしていた。(参照動画)

民衆は、有害なマスクを子供達に着用させたり、ワクチン接種の義務化によって差別を発生させたりしていることに対して抗議している。

「We will not comply! (我々は従わない)」

- ゼネラル・エレクトリックの従業員達は、ワクチンの義務化に抗議するために仕事をやめた。(参照動画)

彼らの分析によれば、ワクチンが安全であるというデータは存在しない。

従業員の声。

「ワクチンが有害であることが判明した」

「今ここで立ち上がらなければ子供達も自由が無くなる」

- ワクチン義務化に従わず解雇されたシアトルの消防士と警察官は、ホームレスに食事を提供しています。(参照動画)

解雇されても、ワシントン州の政治家の誰よりも地域社会に貢献しています。

- 35000人のカナダの医師が、ジェノサイド注射を拒否。(参照動画)

●フランスの都市ナントでは3000人程の民衆がワクチンパスポートに反対する抗議活動に参加したが、警察は、民衆を追い散らすために催涙ガスを使用している。(参照動画)

●フランスと同様、イタリアでもワクチンパスポートに激怒した市民達と警察との間の抗争が激化している。(参照動画)

この国も市民達と警察とが戦争状態になる兆しが見えてきた。

これがワクチンパスポートを導入したことによる弊害。ワクチンパスポートは、差別、暴力、戦争を生み出すことが判明した。

●ドイツでファシズムによる暴力が横行している。(参照動画)

妄想に基づいた感染対策法を執行するためにナチスはコロナチス警察として復活した。

コロナチス警察に繁殖した血に飢えたギャングたちは、今日もまた、かよわい老人、女性、子供達を殴打し、犠牲者にしている。

世界は崩壊し、民主主義は終焉を迎えた。

●ドイツのナチス警察は、小さな子供がロックダウンに抗議する母親を守ろうとしたので、見せしめのために、その子供の頭を殴打して張り倒した。(参照動画)

●ドイツ・ベルリン (参照動画)

平和にデモをしていた人々に警察が暴力で弾圧。その後、警察はデモ隊に囲まれ身動きが取れない。

●イギリスの警察の目に余る暴力行為！ (参照動画)

ワクチンパスポート反対派を犬に襲わせている。

●オーストラリアではロックダウンに抗議して自由を求める民衆が立ち上がった。(参照動画)

独裁国家では民衆の非道な弾圧が行われた。

武装警察が無防備の市民を暴力で取り締まった。

民衆は勇敢に立ち向かった。

そして抗議活動は続けられた。

●メルボルンの警察は、健康と安全のためという名目で、ワクチンパスポートに抗議する民衆に唐辛子スプレーを吹きかけ、ゴム弾を子供にも発砲した。(参照動画)

警察は70歳の女性の顔を殴り倒し、骨折させた。

Craig Kelly 議員「警察が丸腰の市民に極端な暴力をふるっている原因解明のために司法調査を求める」

●スイスの警官達は、オーストラリアから市民の弾圧方法を学んだ。[\(参照動画\)](#)

警官達は、ゆっくりと狙いを定め、団結した平和的な市民達を撃つことを楽しみ始めた。

ニュースでは報道していないだろう。だが、スイスの市民達も、世界の同胞も、この日のことは決して忘れない。

●アテネで行われている抗議活動の様子。[\(参照動画\)](#)

ここでもやはり警察による弾圧が激しい。

●フランスのニースでは、ワクチンパスポートの導入によって混雑していたレストランから客が離れ、ガラガラになった。[\(参照動画\)](#)

●フランスの民衆は、椅子とテーブルを持参し、路上で盛大に宴会、ピクニックを行うようになった。[\(参照動画\)](#)

独裁政権に同調して差別的なワクチンパスポートを導入した飲食店も同罪だ。そのような店にもう客が戻ることはないだろう。

●フランスの人々は、ワクチンパスポートの必要なレストランを利用することを避け、自分達で自主宴会をするようになった。[\(参照動画\)](#)

警察は罰金を課すと脅したが、民衆は平和的に抵抗したため、これを許可するしかなくなった。

●スイスの人々もフランスの人々と同じように、パスポートの必要なレストランやバーを使用することを避け、店の目の前で宴会をするようになった。[\(参照動画\)](#)

フランスで行われていることは世界の流れに大きな影響を与えている。

●イタリアの接種した人たち、ワクチンパスポートを燃やす。(参照動画)

接種したこと、ワクチンパスポートによる自由や人権の制限は別だとわかっている。

●参照記事：[「ロシア人がわずか3週間でモスクワのワクチンパスポートを潰した方法」](#) (参考資料)

●参照記事：[「How Russians Ditched the Health Pass: 2 Million Complaints in 3 weeks, and Victory!」](#) (翻訳記事)

●参照記事：[「米フロリダ州、ワクチンパスポート実施の郡に4億円の罰金 2021年10月13日」](#)

—米フロリダ州の保健省は12日、同州レオン郡に対して357万ドル(約4億円)の罰金を科した。新型コロナウイルスのワクチン接種歴を証明する通称「ワクチンパスポート」の使用を禁止する州法に違反したためだとしている。

同省は声明で、レオン郡が郡政府の職員に対しワクチンの接種証明の提出を義務付けていたことを明らかにした。郡は最終的に拒否したり未提出だったりした職員14人を解雇。これらが「甚だしい法律違反」に当たるとして上記の額の罰金を科したと述べた。

共和党のデサンティス州知事は4月、自由とプライバシーへの懸念を主要な根拠に挙げてワクチンパスポートの禁止を発表。その後、これに違反した郡や都市には罰金を科すと約束していた—。

●参照記事：[「米フロリダ州知事、ワクチン接種の義務化で職を失った他州の警察官を歓迎。フロリダ州に移住した場合、5000ドルのボーナスを支給へ 2021年10月24日」](#)

●参照記事：[「米テキサス州のグレッグ・アボット知事は、同州での新型コロナウイルスワクチン接種の義務化を禁止する法令を発表した 2021年10月12日」](#)

—バイデン大統領は、連邦職員および連邦政府に出入りする業者の社員、および少なくとも100人が働く民間企業の職員に、ワクチン接種を義務付ける意向を示している。テキサス州での新たな法令は、こうしたバイデン氏の発議に反する。

法令には「テキサス州のいかなる組織も、個人的信念、宗教的信念、あるいは医学的な理由でワクチン接種に反対する従業員や顧客などの個人に新型コロナウイルスワクチンの接種を強いる権利を持っていない」とある。

アボット氏は、米国下院と州議会に立法の形で自身の発案を公式化するよう依頼した。その後、法令は取り消されることになっている—。

●参照記事：[「ブラジルのジャイール・ボルソナロ大統領は、ブラジルでワクチンを義務化したり、パスポートを要求したりしないことを保証しました 2021年10月22日」](#) (参照記事)

ボルソナロ大統領は、コロナウイルスのパンデミックの枠組みで課された措置に反対し、

「ワクチンは義務ではなく、パスポートもない。自由は何よりも優先されなければならない」

と、保証した。

「おそらく私は、マスクなしで自分の顔を見せている世界で唯一の国家元首です。決定は必ずしもすべての人を喜ばせるわけではありません。しかし、私たちはどちらの側にいるのかを決定する必要があり、それは政治的

に正しい側であるべきではない。私は正しい側、真実の側を選んだ」

【北欧諸国のコロナ対策撤廃】

●デンマーク、ノルウェー、スウェーデンでは規制が撤廃され、コロナのパスポートも不要になりました。[\(参照記事\)](#)

北欧の生活は正常に戻っています。

もっと大きなニュースにすべきだとつくづく思います……。

●参照記事：[「デンマークが全てのコロナ規制を解除 2021年9月16日」](#)

—ウイルスの感染対策措置を約550日間続けてきた北欧の国デンマークが、EUで初めて国内の規制措置を全て解除しました。ワクチンパスポートの導入も完全に取りやめました。

9月10日、ナイトクラブに入る際にワクチン接種証明が不要となり、これをもって最後に残った制限措置も撤廃されました。通常的生活への復帰は徐々に進められています。

公共交通機関でのマスク着用義務が8月半ばになくなり、9月1日には、公共の場での集会の人数制限がなくなりました。

デンマーク政府は新型コロナウイルスをもはや「社会に危機をもたらす病気」ではなく、「通常の危険な病気」だと考えています。12歳以上の80%以上の人々が、ワクチンの2回の接種を済ませています。

コペンハーゲン大学病院感染症科 イェンス・ラングレン教授。

「デンマークが規制を解除したのは、ワクチン接種の展開が順調に進み、その結果、この国ではパンデミックをコントロールできているからです。まだ感染者が残っていても、病院のシステムの範囲内で対処できます」

一方、外国人の国境での入国については、依然として厳しい制限が設けられています—。

●参照記事：[「ノルウェーは土曜日にコロナウイルス関連の制限を終了する \(Norway to end coronavirus-related restrictions on Saturday\) 2021年9月24日」](#)

—ノルウェーは土曜日に社会を再開すると政府は述べ、社会的相互作用を制限し、多くの企業を妨害してきたコロナウイルス抑制の制限を撤廃した—。

●一週間前、ノルウェーはすべての制限を解除した。[\(参照記事\)](#)

すべてがオープンになりました。誰もマスクをしていません。コロナパスポートも社会的な距離を置くルールもありません。

制限を解除してから、コロナの感染率は40%減少しました。

●コロナ規制を全て撤廃したノルウェーでは、ワクチンパスポートを導入する代わりに新しい感染対策を実践している。[\(参照動画\)](#)

ノルウェーからの新しい感染対策の様子が映像で届いた。この対策の効果で2週間で感染者が57%も減少した。

●スウェーデンは、ほぼゼロコロナ死を達成した [\(参照記事\)](#)

その方法は、

マスク無し

ロックダウン無し

ワクチン強制接種無し

ワクチンパスポート無し

科学的根拠に基づいた政策を採用し、民衆の自由を保証することが死を防ぐ方法だ。

赤：未接種

青：1回接種

水色：2回接種

若者は未接種か、1回打って止めた

●スκανジナピアは正常に戻りました ([参照動画](#))

デンマーク：全ての制限を撤廃。ワクチンパスポートなし、マスクなし。

ノルウェー：全ての制限を撤廃。ワクチンパスポートなし、マスクなし。

スウェーデン：実質的に全ての制限が解除。ワクチンパスポートなし、マスクなし。

スκανジナピアは正常に戻りました。

●2021年10月時点での欧州の様子。 ([参照記事](#))

赤：ワクチンパスポート有 (概ね大規模なデモが発生)

青：ワクチンパスポート無

水色：限定的にワクチンパスポート使用

後日、モスクワ市では、またもコロナ規制再開の動きが出てきていると報道されていたが、この報道が本当であれば、どうか市民たちは圧力に負けず跳ね返してもらいたい。 ([参照記事](#))

オーストラリアやアメリカの各州でも、圧力は高まっている様子だ。

●参照記事：[「海外事情 生の声」](#)

そして、日本だが・・・、国民のテレビ漬けとメディアの腐敗ぶりは、もはやどうしようもないレベルである。

多くの人はコロナ恐怖症とワクチン信仰に埋没してしまっているのが現状だ。

一部、懸命に啓蒙活動をされている方々もいるが、メディアや政治家はデマ扱いするか蓋をする。

以下の内容を見れば、いわゆる「三権分立」の立法・行政・司法の全てに腐敗が浸透している事を理解できるだろう。

【①行政の腐敗例：田村憲久厚生労働大臣への質問】

●参照記事：[「田村大臣会見概要 \(令和3年10月1日\)」](#)

・・・子供たちへのワクチン接種に疑問を持った記者 (主要メディアではないだろう) が、厚生労働大臣の記者会見で、次のような質問をしている。

記者：新型コロナワクチンの感染予防効果についてなんですが、大臣は2月24日の会見で「予防効果について十分にエビデンスがまだないので、我々はこれを確認できておりません。」とお答えになられています。この

認識はまだ変わりませんか。

大臣：エビデンスという意味からすると、しっかりとした研究に基づいた**感染予防効果がどれぐらいあるか、**というものは**確立したものはまだない**と存じておりますが、ただ、世界各国でワクチン接種が進むことによって、感染が一定程度抑えられてきているということ自体は、それはそれとして、経験的にと言いますか、そういう傾向があるということはまた事実であろうと思います。問題は要するに、今申し上げたとおり、「ワクチン接種が感染を防いでいる、どれぐらいの感染を防げるかというようなことが研究ベースで確立をされているものではない、ということ

は認識している。」ということはおっしゃいました。

記者：ただ、実態的にはワクチン接種が早期に進められた、イスラエルや英国、米国などでは、再び新規感染者が増えていますよね。特にイスラエルでは8月の第2週、新型コロナ感染者の死亡者79人のうち、78人が2回接種済みだったんですね。我が国でも、[9月1日の第50回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボードの資料](#)にあるんですけども、**接種回数が多いほど、新型コロナウイルス感染者の致死率が高い**んですね。未接種者で0.12%、1回接種者で、0.41%、2回接種者で0.58%で上がっているんです。こちらに資料ダウンロードしてきましたけれど、厚労省のホームページにあるんですけど。こういうエビデンスからして、先月私から大臣に聞いた「なぜ子どもにワクチンを接種するのか」ということで質問しましたが、大臣は「家庭内感染を予防する効果があるから」とおっしゃいました。そうすると前提が崩れてるんですね。エビデンスがないんですね。それについてはどう思われますか。

大臣：ちょっと、おっしゃっている意味がよくわからないんですが、ワクチンを打つ人が増えてくれば、欧米とかですね、欧米のお話がありましたが、ワクチンを接種している人が増えてくれば、当然、感染している中でワクチン接種者が増えてくるのは当たり前ですよ。ワクチン接種している人が圧倒的に増えるわけですから。

記者：で、致死率も上がってきているんです。

大臣：致死率が上がってくるという話は、我々は認識いたしておりません。私が把握しておる内容では、ワクチンを接種した方々は、他の接種されていない方々と比べて、致死率は下がっているということです。

記者：これアドバイザリーボードで提出された資料なんですけれども、これ**接種0回より1回、1回より2回接種済みの人の方が、コロナ感染の致死率上がっている**んです。これ誰でもホームページで見れます。

大臣：それいつの資料ですか。

記者：これは9月1日のやつです。それ以降、この形式のデータは示してないんです。

大臣：9月1日と言うと、高齢者が打っているデータが多いときですよ。

記者：そこを強調されていますが、**全体で見ると（致死率が）上がっている**んです。高齢者は打つほど（致死率が）下がっているということをおっしゃっているんですが、全体では、上がっているんです。

大臣：高齢者が主に一番多く打っているからそうになっているのではないですか。つまり、リスクの高い方々をまず始めに接種していますから。

記者：問題は全体です。**全体では上がっている**んです。

大臣：そうなんだけれど、全体の中で高齢者を中心に打っているわけですから。重症化のリスクが高い。そういう意味からそういう数字が出るんだと思います。

記者：私がお尋ねしているのは、逆に**若年層では、接種回数が高いほど、致死率が高い**。

大臣：もしあれでしたら、事務方から説明させますよ。ここで議論していても、私今その資料持っていませんから。

記者：わかりました。**エビデンスがない**ということをお指摘をして、お答えいただきました。ありがとうございます。

大臣：世界的には、ワクチンを一定程度打つと、感染予防効果も一定程度あるのではないかとということが言われていて、そしてワクチンパスポートなるものを使って、世界的にいろいろな行動制限の緩和をやっているという事実があるということもご理解いただきたいと思います。

・・・と、記者の指摘に対し、はぐらかし、かわし続ける大臣。

●アメリカ「FOXチャンネル」の放送でも、平年を上回る死亡増加とワクチンとの関係を指摘 ([参照動画](#))

●参照動画 [「子宮頸がんワクチン 国が接種の呼びかけ再開を判断へ 2021年8月31日会見」](#)

●参照記事：[「コロナワクチン訴訟 傍聴してきました」](#)

※この裁判を目撃した方たちが、後日、完全再現した動画を作り公開。 ([参照動画](#))

●裁判での『意見陳述書』

https://hanwakukikin.jp/pdf/genkoku_ikenchinjyutsu_kihara-031005.pdf

●参照記事：[「新型コロナワクチン特例承認取消訴訟で弁護士を強制排除【東京地裁】」](#)

●動画 [「第一回口頭弁論 記者会見 2021年10月12日」](#)

●フランス領のマルティニークにあるピエールゾブダ病院では、医療従事者がワクチン接種を拒否したところ、警察が医療従事者を逮捕。 ([参照動画](#))

病院の職員と警察との間の緊張が高まった。

病院は、警察署に変わった。

●病院で戦争を発生させ、職員を凶悪犯にしたて挙げている一方で、マクロンとその仲間達は、サッカーの試合後、エリゼ宮殿で宴会をしている。 ([参照動画](#))

勿論、マスクもしていないし、社会的距離もない。

●マクロン達は屋内でマスクも無しで社会的距離もとらずに堂々と宴会をしている。それなのに、学生達には、屋外でマスクを着用することを強いて演奏させている。 ([参照動画](#))

●ワクチンを2回接種しても6ヵ月で役に立たなくなり、3回目の接種が強制されるようになる。(参照動画)
フランスの労働大臣は、3回目を接種しない市民のワクチンパスポートを剥奪することを検討。
2回接種者は未接種扱いになっていく。今後、ワクチンの未接種者の割合はどんどん増えていくだろう。

●参照記事：[「接種証明失効も・・・新ルール導入 イスラエル『半年以内に3回目』 2021年10月4日」](#)
——イスラエルは、新型コロナワクチンの接種証明について、接種完了から半年以内に3回目の接種を受けない場合、接種証明が失効する新たなルールを導入した。

イスラエルでは、これまでワクチンを2回接種した人を対象に、レストランやジムに入る際に必要な接種証明を発行してきた。

しかし、「デルタ株」の流行で、接種が完了していても感染する、いわゆるブレークスルー感染も発生していることなどから、**2回目の接種から半年以内に3回目を受けない場合などは、接種証明が失効することにした。**

政府は、今回の措置で3回目の接種を促したい考え——。

●ニュージーランド「ロックダウン措置解除に向け、ワクチン接種率90%を目安とする」(参照記事)

「夏を楽しんだり、バーやレストランに行ったりしたいならワクチン接種を」

●ニュージーランド首相「政府の発表だけを信じなさい」(参照記事)

「我々政府が、真実を伝える唯一の情報ソースです。それ以外の情報はすべて疑わしい情報です」(参照動画)

●オーストラリアのニューサウスウェールズ州副首相 John Barilaro のメッセージ (参照動画)

「ワクチンを接種していない者どもに通告する。ワクチンを接種しない限り、もはや自由は得られない」

「ワクチンを接種しないことを選択した者どもの自由を剥奪する」

●オーストラリアのヴィクトリア州首相の言葉 (参照動画)

「未接種者は健康保険および経済システムから締め出す」

●オーストラリアが住民がカンガルーやコアラとかと戯れている平和な国だと思っている人もまだいるかもしれないけど・・・(参照動画)

女性でも自由を求めれば、その罪状で警察によって暴力を行使され、屈辱的な体勢を取らされて逮捕されるような国なのだ。

●参照記事：[「ロックダウンできない日本 諸外国で目立つ強制力 2020年4月17日」](#)

●動画 [「日本の憲法改正とナチスが利用したワイマール憲法」](#)

●「私はワクチンを接種していません」([参照動画](#))

記者：なぜ、予防接種を受けたかどうか答えなかったのですか？

——まず第一に、あなたに関係のないことですよね？

でも、伝えましょう。

私はワクチンを接種していません。

これには科学的な根拠があります。

ちなみに私はMITで科学の修士号を取得しています。生物学者ではありません。

しかし、データを読むことはできます。

みんな読めばいいんだよ。

そして、見て見ぬふりはやめましょう。

データを見なさい。

私は、ワクチンを接種するつもりはありませんよ。

自然な感染症の結果として、私に与えられた免疫を向上させることを示すデータが出るまでは——。

[厚労省のホームページ](#)でも、

「新型コロナワクチンの接種は、国民の皆さまに受けていただくようお願いしていますが、**接種を受けることは強制ではありません**。しっかり情報提供を行ったうえで、**接種を受ける方の同意がある場合に限り接種が行われます**。予防接種を受ける方には、予防接種による感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について理解した上で、自らの意志で接種を受けていただいています。受ける方の同意なく、接種が行われることはありません。職場や周りの方などに接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをすることのないようお願いいたします」

と、強制してはいけない旨を述べてある。

●検索サイト：[「Search Results from the VAERS」](#)

●検索サイト：[「VAERS COVID Vaccine Adverse Event Reports」](#)

●検索サイト：[「Statistics and Research Coronavirus Pandemic \(COVID-19\)」](#)

●検索サイト：[「コロナワクチン 副反応データベース検索」](#)

●参照記事：[「新型コロナワクチンによる死亡・重篤副作用の数々」](#)

●参照記事：[「報告は氷山の一角！コロナワクチン接種後の副反応、死亡のツイートが多すぎて戦慄！」](#)

●参照記事：[「新型コロナウイルスの厳選情報まとめ」](#)

●参照記事：[「新型コロナウイルス資料ダウンロードサイト」](#)

P712～

●参照記事：[「WHAT HISTORY TELLS US ABOUT THE 1918 “SPANISH FLU”」](#)

●参照動画 [「FROM NYC ICU: DOES COVID-19 REALLY CAUSE ARDS?!!」](#)

●参照動画 [「ニューヨークのICU集中治療室の医師からの爆弾発言。肺炎ではなく、酸素欠乏の状態！人工呼吸器が肺の損傷を引き起こしている！？」](#)

高橋徳医師は、講演会にて、

「新型コロナウイルス特有のひどい症状があると聞かすが、ただマスクが着いてるだけか」

と、会場から質問を受けた際、

「よく言われるのは、味覚や嗅覚がおかしくなったとか、後遺症だとか。でも、風邪やインフルエンザでもそういうことはある。それを大げさに言っているだけ」

と、回答している。(参照記事)

●参照記事：[「遺伝子ワクチンの効果は自然感染より劣る」](#) (崎谷博征医師のSNSより 2021年9月17日)

—遺伝子ワクチンの副作用は甚大で、その効果さえも自然感染よりかなり劣ることをお伝えしてきました。

このことについてこれまでのエビデンスを分かりやすくまとめている記事が『[ブリテッシュ・メディカル・ジャーナル](#)』誌に掲載されましたので、それを要約したいと思います。

今までのエビデンスを統合すると、**新型コロナによる自然感染で十分に今後の感染に対する持続的かつ高い抵抗力が認められるだけでなく、遺伝子ワクチンよりも優れていることが明白です。**

自然感染では、その後の新型コロナによる症候性感染をほぼ完全（93%）に防ぎます。

自然感染した後では、その後の新型コロナ感染率は未感染よりも10分の1程度でした。

自然感染した場合、その新型コロナ感染防御力は数年に渡る（骨髄にある細胞が数年後も対応できる）こともお伝えしました。

自然感染と比較して、**遺伝子ワクチンの感染防御の効果は数ヶ月程度とこれまでのデータ（イスラエル、米国、アイスランド）は示しています。**これが2回目の接種後6ヶ月後に3回目のブースターショットを接種させられる根拠になっています（本当は、遺伝子ワクチンの副作用の隠蔽、人口削減と金儲けです）。

あまりにも遺伝子ワクチン2回目接種後の新規感染が急増したので、米国疾病予防センター（CDC）は、PCR（Ct値）の基準を変更したり、今年4月末に遺伝子ワクチン接種者の感染者数のカウントを止めるなどあらゆる手段で統計操作を行なってきました。

新型コロナウイルス感染症なる病態は、重症率や死亡率がインフルエンザウイルスと同等かそれ以下のものです。

以上の多数のエビデンスが示すように、ロックダウンを解除し、マスクを外して普通の生活に戻した方がはるかに効果が高いことは、専門家でなくても誰でも分かる道理です—。

●参照動画 [「【無料全編】真弓定夫先生『白衣を着ない・薬を出さない小児科医』インタビュー2010年12月」](#)

●参考資料：[「内海聡の食と社会毒シリーズ」](#)

●大阪の泉大津市長・南出賢一氏は子供へのコロナワクチン接種を推奨しない立場を取っている

【参議院議員会館での記者会見】

ワクチン後遺症をテーマにした記録映画の上映会にゲスト出演した南出賢一泉大津市長は、国会議員を前にして次のように語った。(参照動画)

「ここまでいったら薬害問題ではないでしょうか。しかも今回、5～11歳のエビデンスがないのに打つというのは、狂気の沙汰でしかない。わかっている政治家の皆さん言えないんです」